

**医療介護総合確保促進法に基づく
福岡県計画**

令和3年3月

福岡県

3. 計画に基づき実施する事業

(1) 事業の内容等

事業区分 1 : 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

事業区分 2 : 居宅等における医療の提供に関する事業

事業区分 4 : 医療従事者の確保に関する事業

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.01 (医療分)】 診療情報ネットワーク活用拡大事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 341,158 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県医師会					
事業の期間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日					
背景にある医療・介護ニーズ	ICT 技術の活用により病・病、病・診連携及び多職種による情報共有を促し、急変時をはじめとした県民の救急医療に関する不安の解消を図る。 アウトカム指標：当該ネットワークによる情報共有が可能となる在宅療養患者等を令和 2 年度末までに 25,000 人まで増加させる					
事業の内容	病・病連携、病・診連携、多職種連携を目指した全県的な医療情報ネットワークシステムを県医師会において構築していく上で必要な整備等にかかる経費に対して補助する。					
アウトプット指標	・ 診療情報ネットワークを活用する施設数：729 (H31.3) → 1,200 (R3.3)					
アウトカムとアウトプットの関連	県下全域で当該ネットワークが活用され、より広域的な病・病、病・診連携ないしは多職種による情報共有が行われるようになることで、地域医療構想の達成に向けて必要とされる医療機能の分化・連携が促進される。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 341,158	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	公	(千円)
		基金 国 (A)	(千円) 227,439		民	(千円) 227,439
		都道府県 (B)	(千円) 113,719			うち受託事業等 (再掲) (注 2) (千円)
		計 (A + B)	(千円) 341,158			
		その他 (C)	(千円)			
備考 (注 3)						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.02（医療分）】 がん患者等医科歯科連携整備事業			【総事業費 （計画期間の総額）】 9,627 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県歯科医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ズ	<p>がん治療においては、化学療法や放射線療法により免疫力が低下し、口腔内のトラブルが発生しやすく、治療スケジュールの変更や、治療自体の中止を余儀なくされることもある。また外科手術前の口腔ケアが、肺炎等の術後合併症の予防に効果がある事も知られている。</p> <p>しかし現状では、医科・歯科その他関係職間の情報共有は不十分であり、治療における多職種連携の効果は十分に発揮されていない。情報共有システムを活用した医療体制を整備し効果的な連携を促進することで、急性期の治療期間を短縮し、急性期病床から回復期病床への転換につながるが見込まれる。</p> <p>アウトカム指標： 地域医療構想において不足するとされる回復期病床を2025年までに21,123床確保</p>					
事業の内容	患者情報や治療内容について病院医科・歯科と地域歯科診療所、および関係職（栄養士、看護師）間で共有する情報共有システムについて、機能の追加・修正等の整備を行う。					
アウトプット指標	システム登録患者数：21,240名（R1）→22,000名（R2）					
アウトカムとアウトプットの関 連	情報共有システムの整備により、病院内の医科・歯科間および病院と地域歯科診療所との連携を強化し、がん患者の療養生活の質の向上と退院後のスムーズな連携を図ることで、地域医療構想の達成に向けて必要とされる病床の機能分化・連携を促進する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	(千円) 9,627	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	(千円)
		基金	国（A）	(千円) 6,418	民	(千円) 6,418
			都道府県 （B）	(千円) 3,209		
			計（A + B）	(千円) 9,627		
			その他（C）	(千円)		(千円)
備考（注3）						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.03（医療分）】 小児医療機能分化・連携促進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 143,790 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（一部委託）					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>地域医療構想を達成するために必要とされる小児医療における機能分化・連携を促進するため、病床の安定的な運営に係る支援を行うことで小児医療において必要となる高度急性期病床の維持・確保を図るとともに、地域における連携体制を構築することで、高度急性期からの退院患児を受け入れる受け皿を整備することが急務である。</p> <p>アウトカム指標：小児医療に必要となる回復期病床を2025年までに維持・確保する</p>					
事業の内容	小児医療に必要となる高度急性期病床の維持・確保に必要な医療機器の購入及びその運営に対する支援を行うとともに、NICUを有する地域の医療機関において、地域の小児科医等に対するNICU退院患児研修会等を実施する。					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・小児医療に関わる医師、看護職員等の研修会の開催及び受講者数：年間 800人 ・設備整備医療機関数：1施設 					
アウトカムとアウトプットの関 連	十分なスタッフ数等が確保され、小児医療に必要となる高度急性期病床の安定的な運営体制の確保が図られるとともに、地域における小児医療に関わる専門職の資質向上や連携体制の構築等により、NICU退院患児の支援体制の整備が進むことで、小児医療における機能の分化・連携が促進される。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 143,790	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 35,117 (千円) 29,793 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 29,793
		基金	国 (A)	(千円) 64,910		
			都道府県 (B)	(千円) 32,455		
			計 (A + B)	(千円) 97,365		
			その他 (C)	(千円) 46,425		
備考 (注3)						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.04（医療分）】 がん診療施設設備整備事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 294,093 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各医療機関					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>がん予防の機能を担うかかりつけ医等から照会があったがんが疑われる患者に対し、がんの診断・治療の機能を担う病院が、がんの早期発見、早期治療に的確に対応できるよう、設備整備を支援することでがん診療機能の充実を図るとともにがんの医療連携を促進することにより、地域医療構想の達成に向けた病床の機能分化・連携を促進する。</p> <p>アウトカム指標： 地域医療構想において不足するとされる回復期病床を2025年までに21,123床確保する。</p>					
事業の内容	がんの診療、治療を行う病院の設備整備に対する支援を行う。					
アウトプット指標	・ 令和2年度整備数：9医療機関					
アウトカムとアウトプットの関 連	がんの診断、治療にあたる医療機関の設備整備に対する補助を行うことによつて、がん診療機能の充実を図るとともに、がんの医療連携を促進することで、地域医療構想の達成に向けて必要とされる病床の機能分化・連携が促進される。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 294,093	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 48,144 (千円) 17,210 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)
		基金	国 (A)	(千円) 65,354		
			都道府県 (B)	(千円) 32,677		
			計 (A + B)	(千円) 98,031		
			その他 (C)	(千円) 196,062		
備考 (注3)						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業						
事業名	【No.05（医療分）】 病床機能分化・連携促進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 1,163,327 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県、各病院						
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日						
背景にある医療・介護ニーズ	<p>段階の世代が全て75歳以上となる2025年のあるべき医療提供体制を示した地域医療構想において不足するとされている回復期病床を確保するため、高度急性期、急性期又は慢性期病床から回復期病床への機能転換を促進する必要がある。</p> <p>アウトカム指標： 整備を行う機能毎の病床数（R2：回復期 250床）</p>						
事業の内容	<p>急性期や慢性期から回復期への機能転換が円滑に図られるよう協議を進めるとともに、医療機関が病床機能を転換する際に必要となる施設及び設備の整備等に対して助成する。</p> <p>また、地域医療構想の達成に向け、地域医療構想アドバイザーと連携し、地域医療構想調整会議議長や関係者、各区医師会役員を対象とし、地域医療の現状と課題等について正しく理解してもらうための研修会を開催し、各構想区域の実情に応じた調整会議における具体的議論の進め方の提示等を行う。</p>						
アウトプット指標	・整備を行う施設数：9施設 ・研修会の開催：年4回						
アウトカムとアウトプットの関連	医療機関の円滑な病床機能転換を支援することで、地域医療構想達成に向けて必要とされる回復期病床の確保が図られる。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 1,163,327	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国(A)	(千円) 402,735	民	(千円)	
			都道府県(B)	(千円) 201,367		うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
			計(A+B)	(千円) 604,102			(千円)
			その他(C)	(千円) 559,225		(千円)	
備考(注3)							

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業								
事業名	【No.06（医療分）】 病床規模適正化支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 172,219 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	各医療機関								
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日								
背景にある医療・介護ニーズ	2025年における必要病床数65,383床に対し、許可病床数は71,614床（平成29(2017)年病床機能報告）となっており、病床規模の適正化のためには、過剰な病床機能の更なる転換・削減を促進していくことが必要である。								
	アウトカム指標：病床削減数（R1：65床）								
事業の内容	地域医療構想の達成のため、過剰となっている病床の用途変更など、事業の縮小に必要な費用を支援することにより、病床規模の適正化を図る。								
アウトプット指標	・ 病床削減数：72床（R2）								
アウトカムとアウトプットの関連	病床規模の適正化を図ることにより、将来の医療需要に対応した医療資源の効果的かつ効率的な配置が促される。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		172,219					
		基金	国(A)				(千円)		
			都道府県(B)				(千円)		(千円)
			計(A+B)				(千円)		
103,431				うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)				
その他(C)		(千円)	68,788		(千円)				
備考(注3)									

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.07（医療分）】 口腔管理推進室整備事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 38,614 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県歯科医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>地域医療構想において不足するとされている回復期病床を確保するため、高度急性期、急性期又は慢性期病床から回復期病床への機能転換を促進する必要がある。病床の機能分化を進める上では入院期間の長期化が課題となるが、近年、周術期に口腔管理を行うことで入院日数が減少することや、口腔ケアが誤嚥性肺炎の発症予防になること等が報告されている。</p> <p>アウトカム指標： 地域医療構想において不足するとされる回復期病床を2025年までに21,123床確保</p>					
事業の内容	各地域の歯科医師会に口腔管理推進室を設置して歯科衛生士を配置し、病棟・外来及び病院内地域医療連携室等への歯科専門職の派遣、地域歯科診療所との連携調整等を行う。					
アウトプット指標	歯科専門職を派遣した地域医療支援病院等：4カ所（R2）					
アウトカムとアウトプットの関 連	入院時から退院後まで切れ目のない口腔管理を提供する体制を整備することで、疾患の重症化予防、合併症予防、治療期間及び在院日数の短縮化、退院後の誤嚥性肺炎による再入院率の減少等を図り、病床の機能分化・連携を促進する。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 38,614	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 25,743 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 25,742		
			都道府県 （B）	（千円） 12,872		
			計（A + B）	（千円） 38,614		
			その他（C）	（千円）		
備考（注3）						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.08（医療分）】 慢性期機能分化・連携促進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 336,475 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（委託）、各郡市区医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>構想上必要とされる回復期病床の整備を行うには、急性期から回復期への機能転換のみならず、慢性期から回復期への機能転換が必要不可欠である。</p> <p>アウトカム指標：地域医療構想において不足するとされる回復期病床を2025年までに確保する</p>					
事業の内容	地域医療構想の達成に向けた病床の機能分化を推進するため、慢性期から回復期への機能転換を行う医療機関等が関係機関と連携するための協議・調整、訪問医の養成等に係る研修の実施等の取組に対して支援を行うとともに、各郡市区医師会へアドバイザーを派遣し、取組内容に関する助言等を行う。					
アウトプット指標	・各郡市区医師会（30地域）で連携会議や研修会を開催					
アウトカムとアウトプットの 関連	関係機関との連携体制構築や研修の実施により、慢性期から回復期機能への転換が円滑に図られ、地域医療構想達成に向けて必要とされる慢性期機能病床が確保される。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 336,475	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）
		基金	国（A）	（千円） 224,317	民	（千円） 224,317
			都道府県 （B）	（千円） 112,158		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			計（A + B）	（千円） 336,475		（千円） 23,416
		その他（C）	（千円）			
備考（注3）						

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業					
事業名	【No.09（医療分）】 救急・災害医療連携確保推進事業（機能分化分）				【総事業費 （計画期間の総額）】 13,334 千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向け、救急医療に対する需要は今後さらに増大すると見込まれる。既存の医療資源を活用しつつ、地域の医療機関が連携した一次・二次・三次救急の機能分化を図るとともに、平常時のみならず、災害時の医療救護活動を円滑に実施するため、地域の関係機関が密接に連携した、より質の高い救急・災害医療提供体制の構築が求められている。</p> <p>アウトカム指標： ・一次から三次までの切れ目のない救急医療提供体制が確保されている二次保健医療圏数：13 保健医療圏（R1）→13 保健医療圏（R2） ・災害時医療救護訓練の参加者数：50人（H30）→50人（R2）</p>					
事業の内容	平常時の休日・夜間における救急医療体制の整備及び災害時の救急医療体制の整備のため、地域における医療機関の機能分化・連携推進を図るための経費に対して補助を行うもの。					
アウトプット指標	・補助郡市区医師会数：30 医師会					
アウトカムとアウトプットの関連	各地域において、地域の医療機関が連携した一次・二次・三次救急の機能分化により、患者集中による救急医の負担の軽減に寄与し、地域住民に適切な受療行動を促すことで、休日・夜間の救急医療体制の整備を図るとともに、災害時、同時に多数の患者が発生した場合の医療機関の連携等に係る訓練等を実施することで、災害時の救急医療体制を整備する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	(千円) 13,334	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	(千円)
		基金	国（A）	(千円) 6,666	民	(千円) 6,667
			都道府県 （B）	(千円) 3,334		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			計（A + B）	(千円) 10,000		
			その他（C）	(千円) 3,334		
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.10（医療分）】 健康長寿のための医療・介護の拠点づくり事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 11,500 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	北九州区域					
事業の実施主体	北九州市					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>北九州市は政令指定都市の中で最も高齢化率（27.2%〔H26.3〕）が高く、今後も高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれている。また、2025年には高齢者人口の15.9%が認知症になると試算され、全国での試算値12.8%に比べ高く、認知症本人や家族への支援が強く求められており、認知症支援や介護予防に対する市民意識の向上、市民自らが取組める環境づくりが急務である。</p> <p>アウトカム指標：地域（地域包括単位）ごとの疾病状況及び介護状況の分析結果に基づき、地域（地域包括単位）の特色を分析する（24地域）</p>					
事業の内容	KDB（医療・介護・健診）データを利用し、地域（地域包括単位）ごとの特色を分析することにより、効率的な医療提供体制・介護提供体制を整える。					
アウトプット指標	KDB（医療・介護・健診）データを利用した分析項目数：100項目					
アウトカムとアウトプットの関連	KDB（医療・介護・健診）データを項目ごとに分析することにより、地域ごとの特色が現れ、その特色を分析することで効率的な医療提供体制・介護提供体制を構築するための基礎データとする。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 11,500	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 3,833
		基金	国（A）	（千円） 3,833	民	（千円）
			都道府県 （B）	（千円） 1,917		
			計（A + B）	（千円） 5,750		
			その他（C）	（千円） 5,750		うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業							
事業名	【No.11 (医療分)】 在宅医療推進のための情報集積システム開発事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 19,841 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡市							
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日							
背景にある医療・介護ニ ーズ	効率的かつ効果的な医療と介護の提供に向け、医療機関が相互に、また様々なサービス事業者と連携するための情報共有基盤の整備と、医療・介護ニーズをタイムリーに把握するための仕組みを構築する必要がある。							
	アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29(2017))→42,095 人/月(R5(2023))〔在宅療養支援診療所等調査〕							
事業の内容	在宅医療体制に関わる情報の収集・分析、市民・医療関係者への提供を行うシステムの拡充。							
アウトプット指標	令和2年度末までに蓄積するビッグデータ（人口・医療・介護・検診）数：約 37 億件（R2年2月現在：約 32 億 8 千万件）							
アウトカムとアウトプットの関 連	システムの構築により、現状と将来ニーズが収集・分析され、より質の高い在宅医療介護サービスが提供されることで、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。							
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)		(千円) 19,841	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 9,921	
		基金	国 (A)			(千円) 9,921	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円) 4,960		
			計 (A + B)			(千円) 14,881		
		その他 (C)		(千円) 4,960			うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)
備考 (注3)								

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.12（医療分）】 デイホスピス定着促進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 41,804 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各郡市区医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>現行制度でカバーされない医療依存度の高い在宅療養患者の生活支援及び精神的ケア並びに家族の介護負担の軽減による患者及び家族の QOL の向上を図る。</p> <p>アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29（2017））→42,095 人/月(R5（2023））〔在宅療養支援診療所等調査〕）</p>					
事業の内容	若年のがん末期など、医療依存度が高い在宅療養患者が日中通所できる場を開設し、療養相談や情報交換、作業療法等のサービスを提供する。					
アウトプット指標	デイホスピスを設置：3箇所					
アウトカムとアウトプットの関連	在宅医療を希望する患者が可能な限り在宅療養生活を継続できるよう在宅医療を受ける側の体制を支援することで、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 41,804	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）
		基金	国（A）	（千円） 27,869	民	（千円） 27,869
			都道府県 （B）	（千円） 13,935		
			計（A + B）	（千円） 41,804		
			その他（C）	（千円）		（千円）
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業							
事業名	【No.13（医療分）】 福岡県在宅医療推進協議会運営事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 2,895 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県							
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日							
背景にある医療・介護二 ーズ	在宅医療に係る医療・介護・福祉・行政等の関係機関等からなる協議会において在宅医療に係る課題抽出や対応策の検討等を行うことによって、関係機関等と連携を深めながら県全体として在宅医療の推進を図る。							
	アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29（2017））→42,095 人/月(R5（2023））〔在宅療養支援診療所等調査〕							
事業の内容	県を事務局として在宅医療推進協議会を設置し、県内の在宅医療に係る団体と連携し、在宅医療に関する課題整理や対応策等の検討を行う。							
アウトプット指標	福岡県在宅医療推進協議会の開催：年2回							
アウトカムとアウトプットの 関連	在宅医療の関係機関等の連携を図ることによって在宅医療の提供体制を強化し、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		(A + B + C)		2,895			2,203	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		
			計 (A + B)			(千円)		
その他 (C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲) (注2)	(千円)			
備考 (注3)								

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.14（医療分）】 地域在宅医療支援センター機能強化事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 34,938 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	市町村が取り組む在宅医療・介護連携事業の効果的かつ積極的な実施のため、在宅医療・介護に関するデータの提供・分析や、保健所による市町村と郡市区医師会等関係機関との調整等の支援を行う必要がある。 アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29（2017））→42,095 人/月(R5（2023））〔在宅療養支援診療所等調査〕					
事業の内容	保健所に「在宅医療・介護連携支援員」を配置し、地域の医療介護連携の実態把握、管内市町村へのデータ提供・分析や郡市区医師会等関係団体との連携会議の開催、課題の検討に対する助言等の支援を行う。					
アウトプット指標	在宅医療・介護連携支援員の設置数：9					
アウトカムとアウトプットの関 連	市町村が在宅医療・介護連携推進事業を一体的に提供できる体制づくりを支援することで、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 34,938	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 23,240
		基金	国（A）	（千円） 23,240	民	（千円）
			都道府県 （B）	（千円） 11,620		
			計（A + B）	（千円） 34,860		
			その他（C）	（千円） 78		（千円）
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.15（医療分）】 訪問看護ステーションスキルアップ研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 1,924 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	訪問看護ステーションに求められる技術や知識を習得させることで、地域における在宅医療体制の整備を図る。 アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29（2017））→42,095 人/月(R5（2023））〔在宅療養支援診療所等調査〕					
事業の内容	訪問看護ステーション職員を対象に、看取り、人工呼吸器、難病患者への対応等、訪問看護サービスの技能向上を目的とした研修会を開催する。					
アウトプット指標	訪問看護ステーションスキルアップ研修会の開催：年9回（270人）					
アウトカムとアウトプットの関連	訪問看護ステーションのスキルアップによって在宅医療の提供体制を強化し、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 1,924	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 1,283
		基金	国（A）	（千円） 1,283	民	（千円）
			都道府県 （B）	（千円） 641		
			計（A + B）	（千円） 1,924		
			その他（C）	（千円）		（千円）
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.16（医療分）】 精神科病院における医療保護入院者退院支援委員会推進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 3,389 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（委託）					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	病院から地域生活への移行・定着を図るため、医療保護入院者退院支援委員会に地域援助事業者等支援関係機関の参加を促進する必要がある。 アウトカム指標：入院後1年時点での退院率の向上（H26:88%→R2:90%以上）					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保護入院者退院支援委員会への地域援助事業者等支援関係者の参加促進のための経費の助成。 ・早期退院、地域生活への移行のための情報交換会の開催。 					
アウトプット指標	・本事業を活用して医療保護入院者退院支援委員会に参加した地域援助事業者数（H31.3月時点：56人）					
アウトカムとアウトプットの 関連	退院支援委員会に参加した地域援助事業者が増えることで、病院から地域生活への移行が円滑に行われ、退院率が向上する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 3,389	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）
		基金	国（A）	（千円） 2,259		
			都道府県 （B）	（千円） 1,130	民	（千円） 2,259
			計（A + B）	（千円） 3,389		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			その他（C）	（千円）		（千円） 2,259
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.17（医療分）】 訪問歯科診療推進整備事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 90,220 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	一般社団法人福岡県歯科医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	地域の在宅や施設等で高齢者が増加する中、高齢者の口腔機能の維持や口腔 ケアに関する相談が増加することが見込まれる。 アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29 (2017))→42,095 人/月(R5 (2023))〔在宅療養支援診療所等調 査〕					
事業の内容	・ 在宅歯科医療連携室に歯科衛生士を配置し、歯科診療や保健指導に関する 相談対応を行うとともに、関係職種との連携強化のための研修会や症例検討を 実施。					
アウトプット指標	相談対応可能な専門職の配置数：10カ所					
アウトカムとアウトプットの関 連	専門職による相談対応及び効率的なマッチングにより、訪問歯科診療を受ける患 者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 90,220	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 60,147 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)
		基金				
		国 (A)	(千円) 60,147			
		都道府県 (B)	(千円) 30,073			
		計 (A + B)	(千円) 90,220			
		その他 (C)	(千円)			
備考 (注3)						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.18 (医療分)】 訪問看護ステーション連携強化・看取り促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 17,637 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県 (一部委託)					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>小規模の訪問看護ステーション単独では24時間365日の対応が困難であり、今後増大する在宅での夜間・急変時・看取りのニーズや高度な医療管理のニーズに十分対応できない。また、介護施設では、緩和ケアや看取りに対する知識不足、看護師不在時の急変時対応の不安、家族の理解と協力の不足により看取りの取組が進んでいない。</p> <p>アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加 (28,001 人/月(H29 (2017)) → 42,095 人/月(R5 (2023)))〔在宅療養支援診療所等調査〕</p>					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県内を13の地域に分け、交流会を開催 ・介護施設関係者の看取りに関する理解を深める研修会を実施するとともに、家族・介護施設職員向け啓発資料を作成 					
アウトプット指標	<p>交流会開催地域数：13</p> <p>介護施設向け研修会開催地域数：2</p>					
アウトカムとアウトプットの関 連	各地域内での訪問看護ステーションの連携・協力関係が構築され、24時間365日対応可能な訪問看護体制が整備されること、及び、介護施設関係者や家族の看取りに対する理解が促進されることにより、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 17,637	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 2,103
		基金	国(A)	(千円) 11,758	民	(千円) 9,655
			都道府県 (B)	(千円) 5,879		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			計(A+B)	(千円) 17,637		
			その他(C)	(千円)		
備考(注3)						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.19 (医療分)】 薬局薬剤師の在宅医療参加促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,536 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県薬剤師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局は開局時間内に限らず薬物療法に関する相談を患者から受けたり、調剤や在宅対応が求められている。在宅患者への対応としては、入院から外来、施設から在宅への流れの中、認知症患者や医療密度の高い患者にとっては、在宅での薬学的管理が受けられることが今後ますます必要となることから、かかりつけ薬剤師・薬局においては、服薬アドヒアランスの向上や残薬管理等の業務を始めとして、在宅対応に積極的に関与していくことが必要となっている。</p> <p>厚生労働省が薬局を対象に実施した実態調査（H28.10）では、薬剤師・薬局が在宅業務を行っていない理由「在宅業務の経験・知識がなく、対応方法がわからないため」が16.0%となっている。さらに、在宅医療においては注射剤の無菌調整等の特殊な手技を必要とするケースがあるが、未経験の薬剤師・薬局が無菌調整等の手技を取得する機会は少なく、薬局を新たに在宅医療へ参加させる体制は十分とはいえない。</p> <p>アウトカム指標：居宅療養管理指導料算定薬局数 1,148 件</p>					
事業の内容	他職種と薬剤師のロールプレイを展開しながら、在宅医療へ繋いでいくモデル学習や PCA ポンプに充填調剤する実演等の参加型の実務に近い研修会を開催し、在宅医療に対応できる薬局・薬剤師を養成し、薬局の在宅医療への参加を図る。					
アウトプット指標	実務研修会：4回開催（参加者数25名以上/回、県内4か所）					
アウトカムとアウトプットの関連	患者を在宅医療へ繋いでいく具体的な事例や在宅医療に必要な手技等の実際の実務に近い研修会を開催することで、薬局を新たに在宅医療へ参加させる体制を確保する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 3,536	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
		基金	国 (A)	(千円) 2,357	民	(千円) 2,357
			都道府県 (B)	(千円) 1,179		うち受託事業 等 (再掲) (注2) (千円)
			計 (A + B)	(千円) 3,536		
		その他 (C)	(千円)			
備考 (注3)						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.20（医療分）】 在宅薬物療法支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 4,211 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県薬剤師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>医療の進展に伴い薬剤師の関与する薬物治療においても、新たな医薬品の増加や適正使用に向けた高度な薬学的知識が必要となってきている。また、これまで病院内で行われていた高度な薬物療法が、超高齢社会の進展と治療システムの確立などにより、通院や在宅医療へとシフトしている。</p> <p>今後も高度な治療を受ける在宅患者が増加することが予想されており、患者が安心して在宅で過ごすためには、薬剤師の専門性を高め、入院時と同じ水準で在宅でも薬物療法を受けることができる環境を整備することが必要である。</p> <p>薬剤師の高い専門性を確保するため、複数の学会（団体）が認定薬剤師や専門薬剤師の認定を行っている。しかし、現在これらの認定等に関する研修は、東京、大阪を中心に行われており、福岡県の薬剤師が単位を修得することは困難であることから、研修を受講しやすい環境を整備する必要がある。</p>					
	アウトカム指標：居宅療養管理指導料算定薬局数 1,148 件					
事業の内容	認定薬剤師・専門薬剤師の認定を行っている団体（学会）と共同で研修事業を実施する。					
アウトプット指標	在宅薬物療法に関する専門的な研修会：8回開催（臨床腫瘍薬学3回、緩和医療薬学3回、腎臓病薬物療法2回、参加者80名以上/回）					
アウトカムとアウトプットの関 連	薬剤師が研修を受講しやすい環境を整備することで、専門性の高い薬剤師を確保し、在宅でも入院時と同じ水準で薬物療法を提供できる薬局を確保する。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 4,211	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） （千円） 2,807 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 2,807		
			都道府県 （B）	（千円） 1,404		
			計（A + B）	（千円） 4,211		
			その他（C）	（千円）		
備考（注3）						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.21（医療分）】 病院関係職員在宅医療推進研修事業			【総事業費 （計画期間の総額）】 762 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	一般社団法人福岡県私設病院協会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>地域包括ケアの構築や病床機能の分化・連携が進む中で、患者が円滑に入退院するためには、退院前から関係機関が連携することが求められており、退院後の生活を見据えた退院支援体制の整備が必要である。</p> <p>アウトカム指標：訪問診療を受ける患者数の増加（28,001 人/月(H29（2017））→42,095 人/月(R5（2023））〔在宅療養支援診療所等調査〕）</p>					
事業の内容	地域包括ケアシステムや在宅医療の重要性等について病院幹部等が理解するとともに、在宅患者の円滑な入退院を可能とするための院内の多職種連携や地域における病院・診療所間の連携等の具体的な手法等について学ぶ研修会を実施するもの。					
アウトプット指標	県内病院幹部等を対象とした入退院支援体制の整備や地域における病院・診療所間の連携等を目的とした研修会を年2回開催する。					
アウトカムとアウトプットの関 連	病院幹部に対し入退院支援や地域における病院・診療所間の連携に関する研修会を行うことで、在宅医療における病院の役割等についての理解を促進し、入院早期から退院後の生活を見据えた退院支援体制の整備を図り、在宅医療との連携を強化し、訪問診療を受ける患者数の増加を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 762	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) (千円) 508 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円)
		基金	国 (A)	(千円) 508		
			都道府県 (B)	(千円) 254		
			計 (A + B)	(千円) 762		
			その他 (C)	(千円)		
備考 (注3)						

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業					
事業名	【No.22 (医療分)】 オーラルフレイル対策定着促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 10,054 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県 (直営・委託)、福岡県歯科医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>軽微な口腔機能の低下 (オーラルフレイル) を放置すると、心身の機能低下まで繋がる負の連鎖が生じることから、健康寿命の延伸及び在宅療養者の要介護状態の重度化防止等のため、地域において適切なオーラルフレイル対策を定着させる必要がある。</p> <p>アウトカム指標： 過去1年間に歯科健診を受診した県民の割合の増加：57.8% (H28) →65% (R3)</p>					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者を対象に、口腔機能検査とその結果に応じたオーラルフレイル対策に係る個人用プログラムの提示等を行う出張講座を開催。 ・上記の出張講座と同様のオーラルフレイル対策を市町村で継続実施できるよう、市町村職員等を対象とした研修を実施。 ・かかりつけ歯科医が在宅を含む地域高齢者のオーラルフレイル対策に継続的に取り組めるよう、歯科専門職を対象とした研修を実施。 					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・出張講座：24地区で3回ずつ開催 (受講者延べ720名) (R2) ・歯科専門職研修会：2回開催 (参加者延べ200名) (R2) 					
アウトカムとアウトプットの関 連	オーラルフレイル対策について、高齢者及び歯科専門職に対しそれぞれ普及啓発を行うことで、かかりつけ歯科医による定期的な口腔健康管理の定着を促進する。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 10,054	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 33
		基金	国 (A)	(千円) 5,703	民	(千円) 5,670
			都道府県 (B)	(千円) 2,851		
			計 (A + B)	(千円) 8,554		
			その他 (C)	(千円) 1,500		(千円) 4,670
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.23（医療分）】 地域医療支援センター運営事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 51,745 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（一部委託）					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>① 全国的に見ると医師数に恵まれた本県であるが、地域や診療科によっては偏在があるため、医師のキャリア形成と一体となった医師確保対策を実施し、偏在の緩和・解消を図る必要がある。</p> <p>② 医師派遣機能を有する大学病院や医師の養成を担う臨床研修病院が、臨床研修医を十分に確保できていない状況があるため、臨床研修医の確保の取組を支援する必要がある。</p> <p>③ 地域医療において活躍が期待される総合診療専門医について、その養成が都市部のみならず医師確保が困難な地域においても行われるよう、専攻医を誘導し、研修中の一定期間診療に従事する医師の確保を図る必要がある。</p> <p>アウトカム指標：人口10万対医師数が全国平均（H30:244.8人）以下の医療圏の医師数（粕屋180.8人、宗像166.2人、筑紫190.8人、朝倉184.0人、八女・筑後230.5人、直方・鞍手174.7人、田川193.1人、京築143.4人）について、令和2年までに5%（対H28年度）の増加を図る。</p>					
事業の内容	<p>① 医師確保対策に係る県内医療機関、関係団体との連携・協力体制を強化するとともに、医師のキャリア形成支援を充実させ、義務年限内の自治医科大学医師以外の医師も対象とした医師確保、医師派遣の仕組みを構築する。これにより、医師確保が困難な医療圏（田川、京築、八女・筑後等）への医療提供体制の充実を図る。</p> <p>② 県内臨床研修病院の紹介、臨床研修プログラムの概要などをまとめたガイドブックの制作・頒布、WEBページの設置等を実施する。</p> <p>③ 医師確保が困難な8医療圏にある医療機関において専攻医が確保できるよう、専攻医を受け入れる態勢整備に要する経費を補助する。</p>					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> 医師派遣・あっせん数：28名 キャリア形成プログラムの作成数：3 地域卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合：100% 					
アウトカムとアウトプットの関 連	<ul style="list-style-type: none"> 県内大学医局に所属する医師や、自治医科大学で養成した医師等を、医師確保が困難な医療圏にある医療機関に派遣することで、医師確保が困難な医療圏の医師数を増加させる。 専門医資格取得のための研修プログラムにおいて、医師確保が困難な医療圏にある医療機関で一定期間従事する医師（専攻医）を確保する。 					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 51,745	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 8,589
		基金	国（A）	（千円） 20,640	民	（千円） 12,051
			都道府県 （B）	（千円） 10,320		
			計（A + B）	（千円） 30,960		
			その他（C）	（千円） 20,785		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.24（医療分）】 産科医等確保支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 229,371 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	分娩取扱医療機関					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>本県の医師数は、全国的にみると恵まれた状況であり、産科・産婦人科の医師数は微増傾向にあるが、地域によっては偏在が見られる。</p> <p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手当支給施設の産科・産婦人科医師数：前年度実績（H30：425名（手当支給医師数））を上回る ・ 分娩1,000件当たりの分娩取扱医療機関勤務産婦人科医師数：11.10人（H30）→増加を図る 					
事業の内容	産科医等に対し支給される分娩手当等への財政的支援を行う。					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手当支給者数 658名（H30）以上 ・ 手当支給施設数：66施設（H30）以上 					
アウトカムとアウトプットの関連	産科医等への財政的支援を行い、処遇を改善することにより、産科医等の確保を図る。また、産科医等への手当を支給していない分娩取扱医療機関が本事業を活用し、手当を導入することを促す。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 229,371	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）
		基金	国（A）	（千円） 50,971	民	（千円）
			都道府県 （B）	（千円） 25,486		
			計（A + B）	（千円） 76,457		
			その他（C）	（千円） 152,914		うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.25（医療分）】 新生児医療担当医確保支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 13,029 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各病院					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ズ	<p>周産期医療提供体制を構築する上で必要不可欠な新生児科医が過酷な勤務環境等により離職し、不足してしまうことを防ぐため、医療機関に対する財政支援により手当支給を促し、新生児科医の処遇改善を図ることで、周産期医療体制を維持・確保していくことが急務である。</p> <p>アウトカム指標：周産期母子医療センター内の周産期（新生児）専門医数の維持・確保（H31.4.1 現在 30名）</p>					
事業の内容	出生後、新生児集中治療室（NICU）に入院する新生児を担当する医師に対する手当への財政的支援（新生児担当医手当）。					
アウトプット指標	新生児担当医手当を受給した小児科医数：49名(H30年度実績)以上					
アウトカムとアウトプットの関 連	手当という形で新生児科医師の所得を支援することで、周産期母子医療センターにおける周産期（新生児）専門医の維持・確保が図られる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 13,029	基金充当 額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 793 （千円） 2,102 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 2,895		
			都道府県 （B）	（千円） 1,448		
			計（A + B）	（千円） 4,343		
			その他（C）	（千円） 8,686		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.26（医療分）】 小児救急医療支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 21,099 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各市町村					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ズ	<p>軽症小児の小児二次救急医療機関への時間外受診増加等に伴う負担の増大によって、小児科医が離職し、必要な小児科医数を確保できないという事態を防ぎ、小児二次救急医療体制を維持していくためにも、地域の実情に応じた連携体制を構築し、小児科医の負担軽減を図っていくことが急務である。</p> <p>アウトカム指標：24時間体制で小児二次救急医療体制が確保されている二次医療圏（R1：7医療圏）の維持</p>					
事業の内容	<p>軽症患者の二次救急医療機関への受診集中による小児科医の負担軽減のため、地域の実情に応じ、地域の開業小児科医等が基幹病院に出務し、当該病院の小児科医と連携することで、二次医療圏単位で休日・夜間における小児救急医療体制を確保する。</p>					
アウトプット指標	小児救急医療支援事業の補助事業者数：5市、1広域市町村圏事務組合					
アウトカムとアウトプットの関 連	小児二次救急医療体制を確保している二次医療圏に補助を継続することにより、小児科医の負担軽減の継続性を図り、小児二次救急医療体制の維持に繋がる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 21,099	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 9,377
		基金	国（A）	（千円） 9,377	民	（千円） 0
			都道府県 （B）	（千円） 4,689		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			計（A + B）	（千円） 14,066		
			その他（C）	（千円） 7,033		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.27（医療分）】 医療勤務環境改善支援センター運営事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 6,379 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	交代制勤務、長時間労働など厳しい勤務環境が、医師や看護師等医療従事者の離職の一因となっており、職員の確保に苦慮している医療機関が多い。また、教育した職員が離職し、新たな職員を入れると再度教育が必要になり、経営効率が悪くなると同時に、医師や看護の質の低下を招きかねない。 アウトカム指標：医療勤務環境改善計画を策定した医療機関数の増加（R1:264 か所→R2:283 か所）					
事業の内容	医師・看護師等の医療スタッフの離職防止や医療安全の確保等を図るため、医療分野の労働環境改善マネジメントシステムを活用して、医業経営、労務管理等、医療機関を総合的に支援する。					
アウトプット指標	センターの支援により勤務環境改善計画を策定する医療機関数：年間 10 医療機関					
アウトカムとアウトプットの関 連	センターのアドバイザー派遣の支援により、医療勤務環境改善計画策定に取り組む医療機関を増やすことで、医療従事者の離職を防ぎ、県内全体の医療安全、医療の質の向上を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 6,379	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） （千円） うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 4,253		
			都道府県 （B）	（千円） 2,126		
			計（A + B）	（千円） 6,379		
			その他（C）	（千円） 0		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.28（医療分）】 女性医師キャリア形成支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 2,552 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>女性医師が働き続けるためには、医師としてのキャリアを形成しつつ、女性自身が医師としてのやりがいを持ち続けることが重要であるが、女性医師は、職場でのロールモデルとなる先輩医師が少なく孤立しがちであり、様々な境遇や年代の女性医師同士がつながる機会を設けることは、やりがいの維持・向上に有効である。しかし、現状では、女性医師同士が交流できる機会は、一部の都市医師会や大学病院などに限られている。</p> <p>アウトカム指標：県内の医療施設従事医師数（女性）の割合を全国平均に引き上げ（三師調査 H30:20.4%→R2:21.9%）</p>					
事業の内容	<p>①女性医師のキャリア形成を支援するため、ネットワーク作りを目的とした交流会を開催する。</p> <p>②女性医師の就業継続意欲の向上や男性の意識改革を図るため、ライフステージに応じたキャリアプランの提案やロールモデルなどを紹介するガイドブックを配布する。</p>					
アウトプット指標	交流会参加者数：200名					
アウトカムとアウトプットの関連	交流会による女性医師のキャリア形成支援により、女性医師の就業継続や復職の促進を図り、医療施設における女性医師の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 2,552	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 1,701
		基金	国（A）	（千円） 1,701	民	（千円） 0
			都道府県 （B）	（千円） 851		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			計（A + B）	（千円） 2,552		（千円） 0
			その他（C）	（千円） 0		（千円） 0
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.29 (医療分)】 未来の女性医師発掘事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 788 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学医部入学者に占める女性の割合は、平成30年度34.7%だが、ここ10年くらい横ばいで推移 ・高校卒業後大学進学する男女比は、男性49.6%、女性44.8% ・各国の女性医師割合をみると、日本はOECD加盟国中最下位 1位 エストニア (73.8%)、2位 スロベニア (58.3%) 3位 ポーランド (55.7%) …最下位 日本 (18.0%) ※単純平均 41.5% 加重平均 36.0% ・患者の半数は女性であり、女性特有の疾患 (産婦人科、小児科、泌尿器科) などへの相談がしやすい女性医師を望む患者は多くいる。 ・女性医師が診る患者は死亡率が低い、という論文が相次いで発表されており、女性は男性に比べ、コミュニケーションが上手で、患者の話に耳を傾けることがよい診断につながると考えられる。 					
	アウトカム指標： 県内の大学医学部医学科志願者に占める女性比率を全国平均に引き上げる。 (H31 : 35.0% → R5 : 38.9%)					
事業の内容	女子高生の医学部への進学意欲を高め、将来の女性医師を増やすため、高校に講師 (女性医師) を派遣し、高校1年生を対象に、女性医師の仕事に関わる講話を実施する。					
アウトプット指標	派遣する高校：10校 参加する高校生：1,000人					
アウトカムとアウトプットの関 連	女子高校生が、女性医師の仕事に魅力ややりがいを感じ、医学部を目指すことで、将来の女性医師の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 788	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 525
		基金	国 (A)	(千円) 525		
			都道府県 (B)	(千円) 263	民	(千円) 0
			計 (A + B)	(千円) 788		うち受託事業等 (再掲) (注2)
			その他 (C)	(千円) 0		(千円) 0
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.30（医療分）】 専門研修資金貸与事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 48,600 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	県、県内医療機関					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>本県は、医師偏在指標によると産科では12位、小児科では18位となり、全国平均を上回っているものの、全国の下位1/3に該当する二次医療圏が約半分（産科：7医療圏、小児科：6医療圏）を占め、地域偏在が大きく、当該2診療科の労働環境や今後の働き方改革の影響を考慮すると、医師確保が必要な状況となっている。</p> <p>アウトカム指標</p> <p>①産科…周産期母子医療センターで勤務する常勤産婦人科専門医数 ②小児科…相対的医師少数区域の小児科医師数（6医療圏合計）の増</p> <p>①現状値（H31.4時点）…118人 ②現状値（H30.12時点）…127人 目標値（R5.4時点）…130人 目標値（R6.12時点）…133人</p>					
事業の内容	産科や小児科専門研修を行う専攻医に研修資金を貸与し、貸与期間と同期間、県内の指定医療機関（産科：周産期母子医療センター、小児科：医師少数区域の医療施設）での勤務を課すことで、県内従事医師数を増やし、周産期及び小児医療提供体制の確保を図る。					
アウトプット指標	専門研修資金貸与医師数 産科：18人、小児科：9人					
アウトカムとアウトプットの関連	当該事業の実施により、産科医及び小児科医を目指す専攻医の研修環境の充実が図られるため、県内における産科・小児科医の確保に繋がる。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 48,600	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 32,400
		基金	国（A）	（千円） 32,400		
			都道府県 （B）	（千円） 16,200	民	（千円） 0
			計（A + B）	（千円） 48,600		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			その他（C）	（千円） 0		（千円） 0
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業							
事業名	【No.31（医療分）】 救急・災害医療連携確保推進事業（従事者確保分）				【総事業費 （計画期間の総額）】 80,000 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県医師会							
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日							
背景にある医療・介護ニーズ	<p>休日・夜間等における救急搬送が増加する一方、対応する医師の不足等によって、十分な救急医療体制を確保することが困難となっており、在宅当番医制度及び休日・夜間急患センター運営のための経費への補助を行うことで、地域における救急医療従事者の確保を図り、もって救急医療体制の整備を図ることが急務である。</p> <p>また、近年全国各地で頻発している自然災害の発生に備え、災害医療体制の整備を図ることが求められている。</p> <p>アウトカム指標： ・休日・夜間急患センターの運営数：22ヶ所（R1）→22ヶ所（R2） ・在宅当番医制の実施地区数：17地区（R1）→17地区（R2） ・救命処置技能向上に係る研修の参加者数：17人（H30）→30人（R2）</p>							
事業の内容	平常時の休日・夜間における救急医療体制の整備及び災害時の救急医療体制の整備のため、救急・災害医療従事者の確保等に係る経費に対して補助を行うもの。							
アウトプット指標	・補助郡市区医師会数：30 医師会							
アウトカムとアウトプットの関連	休日・夜間急患センターの運営や在宅当番医の実施、災害時の医療体制に精通した医療従事者の確保のための研修等に取り組む医師会に対して補助を行うことで、地域における救急・災害医療従事者の確保を図り、平常時の休日・夜間における県内の救急医療体制及び災害時の救急医療体制を整備する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 80,000	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）		
		基金	国（A）	（千円） 40,000		（千円） 40,000		
			都道府県 （B）	（千円） 20,000				
			計（A + B）	（千円） 60,000			民	うち受託事業等 （再掲） （注2）
			その他（C）	（千円） 20,000				（千円）
備考（注3）								

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.32（医療分）】 歯科医・歯科衛生士研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 1,504 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県歯科医師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ズ	2025年に向けて増大していく医療需要に対応していくため、地域歯科保健を支える歯科医師・歯科衛生士等の確保を進めるとともに、歯科医師、歯科衛生士等のさらなる知識と技術の向上を図る必要がある。 アウトカム指標：県内の人口10万人対歯科医師数（H30：109.5人）及び歯科衛生士数（H30：124.8人）の増加					
事業の内容	歯科医師会が行う新規加入者向け研修及び、歯科医師・歯科衛生士等歯科専門職に対する技術向上のための研修等にかかる費用に対して補助する。					
アウトプット指標	歯科専門職に対する技術向上のための研修会参加者数：400名					
アウトカムとアウトプットの関 連	歯科専門職に対して技術向上のための研修会を開催し、専門的知識の習得を進めることで、歯科専門職の資質の向上を図り、地域歯科保健を支える歯科医師、歯科衛生士等の確保を促進する。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 1,504	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 501 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 501		
			都道府県 （B）	（千円） 251		
			計（A + B）	（千円） 752		
			その他（C）	（千円） 752		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.33（医療分）】 歯科衛生士復職支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 2,125 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（委託）					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護コ ーズ	<p>歯科診療所に勤務する歯科衛生士の不足に加え、平成元年の歯科衛生士法の改正により歯科衛生士が歯科保健指導を行えることとなり、地域歯科保健事業を担当する場が拡大したことから、歯科医療現場はもとより健康増進法等における訪問歯科保健指導等においても支障をきたしている。このため、歯科医療現場や市町村の要望に応えられる歯科衛生士の確保を図ることが急務である。</p> <p>アウトカム指標：復職した未就業歯科衛生士数 20 名</p>					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就業歯科衛生士に対し歯科衛生士会報等で無料職業紹介に関する広報を行い、就業希望者を名簿に登録。 ・臨床現場から遠ざかっていた未就業歯科衛生士が安心して再就職できるよう、臨床的な実施研修を実施。 ・在宅歯科衛生士に対する市町村・歯科医師会の求人情報の提供及び市町村・歯科医師等に対する在宅歯科衛生士の求職情報の提供 					
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・未就業歯科衛生士登録数：1,000 名 ・未就業歯科衛生士研修会参加者数：600 名 ・登録者・求人者への就職情報提供件数：5,000 件 					
アウトカムとアウトプットの関 連	無料職業紹介や未就業歯科衛生士研修会の開催を通して、未就業歯科衛生士の復職につなげる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 2,125	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 1,417 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 1,417
		基金 国 (A)	(千円) 1,417			
		都道府県 (B)	(千円) 708			
		計 (A + B)	(千円) 2,125			
		その他 (C)	(千円)			
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.34（医療分）】 寄附講座設置事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 190,000 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	京築、八女・筑後、田川区域					
事業の実施主体	各大学					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>本県の医師数は全国的にみると恵まれた状況にあるが、地域や診療科によっては偏在が見られ、医師確保が困難な地域に対して、安定的な医師の派遣体制を確保する必要がある。</p> <p>アウトカム指標：派遣医師数の維持（19名／八女・筑後区域：6名、京築区域：2名、田川区域：11名）</p>					
事業の内容	県内の医学部を有する大学に寄附講座を設置し、講座の研究プログラムの一環として、県が指定する保健医療圏の医療機関に対し、医師を派遣する。					
アウトプット指標	・ 寄附講座設置大学数：3大学					
アウトカムとアウトプットの関 連	各大学に継続して寄附講座を設置することによって、医師確保困難地域への安定的な医師の派遣体制を確保することができる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 190,000	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 30,000 （千円） 65,000 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円） 0
		基金	国（A）	（千円） 95,000		
			都道府県 （B）	（千円） 47,500		
			計（A + B）	（千円） 142,500		
			その他（C）	（千円） 47,500		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.35（医療分）】 緊急医師確保対策奨学金				【総事業費 （計画期間の総額）】 27,600 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>比較的医療資源に恵まれた本県においても、産科・産婦人科の医師数の減少が顕著であるなど、診療科による医師の偏在があり、地域医療に従事する医師の一層の増加を図ることで偏在を是正する必要がある。</p> <p>アウトカム指標：奨学金貸与者に係る特定診療科での県内従事者数： 5名（R1）→8名（R2）</p>					
事業の内容	久留米大学医学部に地域医療医師確保特別枠を設け、県内の医療機関において医師確保が困難な産科、小児科、救命救急医療等に将来従事しようとする医学部生に対して奨学金を貸与することにより、地域医療に従事する医師の確保、診療科による医師の偏在是正を図る。					
アウトプット指標	奨学金貸与者数：5名					
アウトカムとアウトプットの関 連	特定診療科に将来従事しようとする医学生に対して奨学金を貸与することによって、将来、医師確保が困難な診療科に従事する医師の増加が図られ、偏在の是正につながる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 27,600	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 18,400 （千円） 0 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円） 0
		基金	国（A）	（千円） 18,400		
			都道府県 （B）	（千円） 9,200		
			計（A + B）	（千円） 27,600		
			その他（C）	（千円） 0		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.36（医療分）】 母体救命講習普及事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 1,147 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県産婦人科医会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>本県一分娩施設あたりの平均分娩数は増加傾向にあることから、ハイリスク妊婦に対応する現場の医師の負担を軽減するために、各分娩施設における産科救急への初期対応力強化が必要であるが、指導者となる医師が不足している。</p> <p>アウトカム指標：県内の講習指導者（インストラクター）数の増加（R1:46人→R2:48人）</p>					
事業の内容	福岡県産婦人科医会が分娩施設における母体急変時の初期対応や救急処置技術の習得のため、産科救急に関する実践的なシミュレーション教育を行う講習会を実施し、県内のインストラクター資格要件を満たす産科医の増を図る。					
アウトプット指標	母体救命公認講習会受講施設数：40施設					
アウトカムとアウトプットの関 連	より多くの施設から産科医が受講することにより、インストラクター資格要件を満たす産科医の増加に繋がる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 1,147	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） （千円） 765 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 765		
			都道府県 （B）	（千円） 382		
			計（A + B）	（千円） 1,147		
			その他（C）	（千円）		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業				
事業名	【No.37（医療分）】 看護師等養成所運営費補助事業			【総事業費 （計画期間の総額）】 756,521 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域				
事業の実施主体	各看護師等養成所				
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日				
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>2025年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、看護職員が養成される看護師等養成所の運営を支援していくことで、将来必要とされる看護職員を確保していくことが急務である。</p> <p>アウトカム指標：看護職員における県内就業者数の増加（H31.3：2,599人）</p>				
事業の内容	<p>県内の看護師等養成所に対して、運営費の加算※を含め、その運営に必要な経費を補助することにより、養成所の教育内容の向上を図ることを目的とする。</p> <p>※ 運営費の加算：県内就職にかかる取組みへの加算。</p>				
アウトプット指標	・ 補助施設数：34校43課程				
アウトカムとアウトプットの関 連	看護師等養成所の運営を補助することによって、各養成所の教育の質が向上し、入学者が増加することで、県内の医療機関へ就職する看護職員の確保が図られる。				
事業に要する費用の額	金額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 756,521	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 （千円）
		基金 国（A）	（千円） 504,347		民 （千円） 504,347
		都道府県 （B）	（千円） 252,174		
		計（A + B）	（千円） 756,521		うち受託事業等 （再掲） （注2）
		その他（C）	（千円）		（千円）
備考（注3）					

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.38（医療分）】 看護教員養成講習会事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 16,203 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	多様化、高度化する看護ニーズに対応する看護職員の養成のため、専任教員に 必要な知識・技術を修得させ、看護教育の充実及び向上を図る必要がある。 アウトカム指標：専任教員養成講習会未受講率の低下(H31.3：25.5%→ R2.3：21.2%)					
事業の内容	看護師等養成所の専任教員を養成するため、講習会を実施するもの。 （定員 40 名、講習科目 36 科目 34 単位）					
アウトプット指標	看護教員養成講習会の受講者数：40 名					
アウトカムとアウトプットの関 連	看護教員養成講習会を実施することにより、県内の看護師等養成所の看護教員 の資質向上を図り、養成所の教育の質を高めることで、看護師免許取得者を増加 させ、県内で働く看護職員の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	(千円) 16,203	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	(千円) 6,155 (千円) 0 うち受託事業 等（再掲） （注2） (千円) 0
		基金	国（A）	(千円) 6,155		
			都道府県 （B）	(千円) 3,078		
			計（A + B）	(千円) 9,233		
			その他（C）	(千円) 6,970		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.39（医療分）】 看護職員専門分野研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 7,644 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	近年の医療の高度化・専門化に対して、県民の要望に応じることのできる専門性の高い看護職員の育成が必要。 アウトカム指標：県内認定看護師数の増加(H29.12:839人、H30.12:899人、R1.12:961人、)					
事業の内容	近年の少子高齢化の進展や疾病構造の変化による医療の高度化・専門分野に対応し、県民の要望に応じることの出来る質の高い専門的な看護師である認定看護師を養成するための教育課程を開講する教育機関に対して開講に係る経費への補助を行う。					
アウトプット指標	・ 補助養成施設数：3施設					
アウトカムとアウトプットの関 連	認定看護師の養成教育課程を設けている大学等に支援することで、県内の認定看護師の増加を促し、医療の高度化・専門化への対応を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 7,644	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) 1,176 (千円) 3,920 うち受託事業等 (再掲) (注2) (千円) 0
		基金	国 (A)	(千円) 5,096		
			都道府県 (B)	(千円) 2,548		
			計 (A + B)	(千円) 7,644		
			その他 (C)	(千円) 0		
備考 (注3)						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.40（医療分）】 新人看護職員研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 125,561 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県（一部委託）、福岡県看護協会、各病院					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	2025年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、新人看護職員の離職を防止することで、将来必要とされる看護職員を確保していくことが急務である。 アウトカム指標：県内新人看護職員の離職率の低下（H29:8.2%→R1:7.5%）					
事業の内容	<p>① 新人看護職員の離職防止及び質の向上を図るため、病院の新人看護職員に対する実践的な研修体制を確保することを目的としている。新人看護職員に対して病院が行うOJT研修への経費補助。</p> <p>② 新人看護職員研修の推進や教育担当者等の資質向上に向け、委員会等を設け研修の内容等の検討を行う。また新人看護職員研修の未実施病院等が導入を図るための支援を行い地域における連携体制を構築し、新人看護職員研修の着実な推進を図るもの。</p> <p>③ 新人看護職員研修の研修プログラムの策定及び企画立案を担う教育責任者を要請するための講習会を開催する。講習会は、国が示した新人看護職員研修ガイドラインに基づき3日間程度の研修を実施する。</p> <p>④ 新人看護職員の臨地実践に関する実地指導・評価等を担う実地指導者に対する研修を実施するもの。</p>					
アウトプット指標	<p>① 新人看護職員研修受講者数の増加：R1年度実績（集計中）から5%増加させる。</p> <p>② 新人看護職員研修推進協議会参加者数：7人×2回</p> <p>③ 新人看護職員教育責任者研修受講者数：30名</p> <p>④ 新人看護職員実地指導者研修受講者数：225名</p>					
アウトカムとアウトプットの関 連	各事業を有機的に実行することで、各病院での新人看護職員の離職を防止し、県内新人看護職員の離職率を低下させることで、県内の看護職員の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A+B+C）	（千円） 125,561	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 0 （千円） うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 43,039		
			都道府県 （B）	（千円） 21,519		
			計（A+B）	（千円） 64,558		
			その他（C）	（千円） 61,003		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.41（医療分）】 新人看護職員多施設集合研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 7,260 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県医師会、福岡県看護協会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	2025 年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の 実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、看護職員が養成さ れる看護師等養成所の運営を支援していくことで、将来必要とされる看護職員を確 保していくことが急務である。					
	アウトカム指標： 県内新人看護職員の離職率の低下（H29:8.2%→R1： 7.5%）					
事業の内容	小規模施設や新人看護職員が少ない等の理由により、施設単独で完結した研 修ができない施設の看護職員を対象として、県医師会及び県看護協会が集合研 修を実施する。					
アウトプット指標	・ 新人看護職員多施設集合研修参加者数：2,200 人					
アウトカムとアウトプットの関 連	施設単独で完結した研修ができない施設の新人看護職員にも研修の機会を保 障することによって、各施設の新人看護職員の離職を防止し、県内新人看護職員 の離職率を低下させることで、県内の看護職員の確保を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	(千円) 7,260	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	(千円) 2,420 うち受託事業等 （再掲） （注2） (千円)
		基金 国（A）	(千円) 2,420			
		都道府県 （B）	(千円) 1,210			
		計（A + B）	(千円) 3,630			
		その他（C）	(千円) 3,630			
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業						
事業名	【No.42（医療分）】 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 820 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県看護協会						
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日						
背景にある医療・介護ニ ーズ	2025年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、看護職員が養成される看護師等養成所の運営を支援していくことで、将来必要とされる看護職員を確保していくことが急務である。 アウトカム指標：県内新人看護職員の離職率の低下（H29:8.2%→R1：7.5%）						
事業の内容	研修体制の未整備、カリキュラムの未策定等により新人看護職員研修が実施困難な施設に対し、県看護協会がアドバイザー（教育経験のある新人看護教育責任者）を派遣し、施設の研修体制構築を支援する。						
アウトプット指標	・ 新人看護職員研修アドバイザー派遣事業利用施設数：3施設（R1）→4施設（R2）						
アウトカムとアウトプットの関 連	各施設にアドバイザーを派遣し、各施設の新人看護職員研修体制の整備を支援することによって、新人看護職員の離職を防止し、新人看護職員の離職率を低下させることで、県内の看護職員の確保を図る。						
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 820	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円）	
		基金	国（A）	（千円） 273	民	（千円） 273	
			都道府県 （B）	（千円） 137			
			計（A + B）	（千円） 410			うち受託事業等 （再掲） （注2）
			その他（C）	（千円） 410		（千円）	
備考（注3）							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.43（医療分）】 看護職員フォローアップ研修事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 57,702 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各病院					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	2025年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の 実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、看護職員の離職を 防止することで、将来必要とされる看護職員を確保していくことが急務である。 アウトカム指標：常勤看護師離職率の低下（H29:10.9%→全国平均 （10.9%）以下）					
事業の内容	新人看護職員研修後の継続研修として、就職後2年目・3年目の新任期看 護職員への研修体制の整備を図るため、新任期看護職員に対し病院が行う研修 への経費を補助する。					
アウトプット指標	・ 研修受講者数及び実施施設数の増加（H28：2,280名 63施設、H29： 2,571名 74施設、H30：2,731名 77施設）					
アウトカムとアウトプットの関 連	研修受講者数及び実施施設数を増加させ、各病院での新任期看護職員の離 職を防止し、常勤看護師離職率を低下させることで、県内の看護職員の確保を図 る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 57,702	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） （千円） うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円） 0
		基金	国（A）	（千円） 19,234		
			都道府県 （B）	（千円） 9,617		
			計（A + B）	（千円） 28,851		
			その他（C）	（千円） 28,851		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.44（医療分）】 病院内保育所運営事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 405,456 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各病院					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ズ	看護職員の離職防止と再就業を促進するため、子どもを持つ看護職員が継続して就業できる職場環境を整備する必要がある。 アウトカム指標：常勤看護師離職率の低下（H29:10.9%→全国平均（10.9%）以下）					
事業の内容	病院内保育所を運営する病院に対して、人件費等の運営費を補助する。					
アウトプット指標	・ 病院内保育所補助事業者数：56 施設					
アウトカムとアウトプットの関 連	病院内保育所の運営を補助し、看護職員の就業環境を整備することで、病院内保育所を利用する看護職員数の増加を図り、離職防止等に繋げる。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 405,456	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） （千円） うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円） 0
		基金	国（A）	（千円） 180,203		
			都道府県 （B）	（千円） 90,101		
			計（A + B）	（千円） 270,304		
			その他（C）	（千円） 135,152		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業						
事業名	【No.45（医療分）】 みんなで話そう看護の出前授業事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 2,478 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県看護協会						
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日						
背景にある医療・介護ニ ーズ	福岡県の需給見通しにおいて、未だに県内の看護職員の数は不足しており、看護職を志し、看護師等学校養成所へ進学する学生を確保することが求められる。 アウトカム指標：県内の看護師等学校養成所への入学者数の増加（H30：4,810人）						
事業の内容	看護職を志す動機付けとなる「看護の出前授業」を実施する看護協会に対して事業実施経費の一部を補助する。						
アウトプット指標	・ 看護の出前授業受講者数：前年度実績を上回る（H30：3,043人）						
アウトカムとアウトプットの関 連	看護の出前授業の開催によって、学生の看護職に対する関心を高め、県内の看護学校への進学を促進することで、将来的な看護職員不足の解消を図る。						
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）		（千円） 2,478	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	（千円）	
		基金	国（A）	（千円） 826		民	（千円） 826
			都道府県 （B）	（千円） 413			うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
			計（A + B）	（千円） 1,239			
		その他（C）	（千円） 1,239				
備考（注3）							

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.46（医療分）】 ふれあい看護体験事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 2,702 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県看護協会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	福岡県の需給見通しにおいて、未だに県内の看護職員の数は不足しており、看護職を志し、看護師等学校養成所へ進学する学生を確保することが求められる。 アウトカム指標：県内の看護師等学校養成所への入学者数の増加（H30：4,810人）					
事業の内容	看護職を志す動機付けとなる「ふれあい看護体験」の実施を希望する高校と、実際に参加学生を受け入れる医療施設とのマッチング及び看護体験実施に係る経費を一部補助する。					
アウトプット指標	・ マッチング率（体験者数／申込者数）：前年度実績を上回る（H30：62.40%）					
アウトカムとアウトプットの関 連	ふれあい看護体験の開催によって、学生の看護職に対する関心を高め、県内の看護学校への進学を促進することで、将来的な看護職員不足の解消を図る。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 2,702	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円） 901 うち受託事業等 （再掲） （注2） （千円）
		基金	国（A）	（千円） 901		
			都道府県 （B）	（千円） 450		
			計（A + B）	（千円） 1,351		
			その他（C）	（千円） 1,351		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.47（医療分）】 看護師等養成所施設・設備整備事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 335,310 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	各看護師等養成所					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	2025年に向けて、高齢化等により医療需要が増大すると推計されており、地域の 実情に応じたあるべき医療提供体制を構築していくためにも、看護職員が養成さ れる看護師等養成所の運営を支援していくことで、将来必要とされる看護職員を確 保していくことが急務である。 アウトカム指標：県内医療機関就職率の向上（H31.3：72.7%→75%以 上）					
事業の内容	看護職員の養成力の充実を図るため、看護師等養成所の新增設及び、老朽 化した養成所の建替え等に対して補助を行い、看護職員の確保を促進するもの。					
アウトプット指標	施設整備実施数：1施設					
アウトカムとアウトプットの関 連	看護師等養成所の新增設に必要な経費を補助することにより、医療従事者の養 成力の充実を図り、県内の看護職員の確保を推進する。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）	（千円） 335,310	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公	（千円） 0
		基金	国（A）	（千円） 111,770	民	（千円） 111,770
			都道府県 （B）	（千円） 55,885		うち受託事業等 （再掲） （注2）
			計（A + B）	（千円） 167,655		（千円） 0
			その他（C）	（千円） 167,655		
備考（注3）						

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業								
事業名	【No.48（医療分）】 看護師の特定行為研修推進事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 24,500 千円				
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	各医療機関								
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日								
背景にある医療・介護二 ーズ	質の高い医療及び看護を提供するためには医師の判断を待たずに、手順書により一定の診療の補助を行う看護師を増やすことが重要である。								
	アウトカム指標：県内の研修修了数の増加（H30.3 24人→R2.3 54人）								
事業の内容	特定行為研修を修了した看護師を養成・確保するため、医療機関等に対し研修の受講費用を補助する。								
アウトプット指標	・看護師特定行為研修受講の補助 30人								
アウトカムとアウトプットの関 連	看護師に特定行為研修を受講させる医療機関等を支援することで、県内の研修修了者の増加を促し、医療・看護を担う人材確保と資質の向上を図る。								
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 （A + B + C）		（千円）	基金充当額 （国費） における 公民の別 （注1）	公 民	（千円）		
		基金	国（A）				（千円）	（千円）	
			都道府県 （B）				（千円）		8,167
			計（A + B）				（千円）		
		その他（C）		（千円）			うち受託事業等 （再掲）（注2） （千円）		
		12,250							
備考（注3）									

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業							
事業名	【No.49（医療分）】 看護職員確保対策強化事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 20,129 千円			
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県（委託）（直営）							
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日							
背景にある医療・介護ニ ーズ	団塊の世代が全て75歳以上になる2025年に向けて、高齢者の増加等に伴い看護職員の不足が見込まれることから、看護職員の確保を図るため、看護学生に対する情報発信や、ナースセンターとハローワークとの連携強化など看護職員確保対策を強化する。							
	アウトカム指標：ハローワーク移動相談利用者の再就業者数の増加 （H30：889人→R6：1,500人）							
事業の内容	<p>①看護職員確保対策強化（直営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県看護職員確保対策協議会の開催 ・福岡県看護職員確保に係る実態調査の実施 <p>②新卒者の確保対策（直営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の職業紹介事業者が運営するサイトに本県の特設ページを掲載し、本県への就職を促す <p>③再就職者の確保対策（委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナースセンターに新たにハローワークにおける再就業移動相談を専任で行う職員を配置し求職中の看護職員に対しナースセンター及びサテライトへの就職支援につなげる 							
アウトプット指標	県内ハローワークへの訪問回数（年間300回）							
アウトカムとアウトプットの関 連	ハローワーク移動相談の利用者が、その後のナースセンター及びサテライトでの復職支援の結果、再就業することにより、県内看護職員確保を図る。							
事業に要する費用の額	金 額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		(A+B+C)		20,129			3,371	
		基金	国(A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県(B)			(千円)		10,048
			計(A+B)			(千円)		20,129
その他(C)		(千円)	0	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円) 10,048				
備考(注3)								

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業					
事業名	【No.50（医療分）】 未就業薬剤師復職支援事業				【総事業費 （計画期間の総額）】 1,736 千円	
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県薬剤師会					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニ ーズ	<p>住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築へ向けた様々な取組が行われ、在宅医療への転換が進んでいる。</p> <p>在宅医療に取り組む薬局も着実に増加しており、地域包括ケアシステムの一翼を担っている状況であるが、今後想定される急激な増加に対応するため、在宅医療対応可能薬局の増加又は機能強化が求められている。</p> <p>在宅医療に従事する薬剤師を確保するためには、未就業薬剤師の復職が必須となるが、介護や育児等により未就業となった期間に、進歩・複雑化した医療制度や医療技術、相次ぐ新薬の登場など、書籍等による自己学習のみでは埋めることのできない知識や技術が壁となり、復職を断念してしまうケースも多い。</p> <p>不足する薬剤師を確保するためには、未就業薬剤師への復職支援が効果的である。</p>					
	アウトカム指標：復職者数 19名					
事業の内容	<p>県薬剤師会が行う以下の事業に対して補助する。</p> <p>①最新の医療制度等に関する知識・技能を習得するための研修会を開催する。</p> <p>②研修会受講者を対象に、薬局において実地研修を行うことで、研修内容の定着を図る。</p>					
アウトプット指標	<p>①知識・技能を習得するための研修会：年2回（参加者50名／回以上）</p> <p>②薬局での実地研修：参加者10名以上</p>					
アウトカムとアウトプットの関 連	未就業となった期間に、進歩・複雑化した医療制度や医療技術等について、研修会や薬局での実地研修を受講することにより、最新の知識・技術を習得することで、復職への不安を払拭し、復職を支援する。					
事業に要する費用の額	金 額	総事業費 (A + B + C)	(千円) 1,736	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円) (千円) うち受託事業 (再掲) (注2) (千円)
		基金 国 (A)	(千円) 579			
		都道府県 (B)	(千円) 289			
		計 (A + B)	(千円) 868			
		その他 (C)	(千円) 868			
備考 (注3)						

事業の区分	6. 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業					
事業名	【No.51 (医療分)】 地域医療勤務環境改善支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 329,461 千円		
事業の対象となる医療介護 総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県					
事業の期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日					
背景にある医療・介護ニーズ	<p>現在の医療は、医師の自己犠牲的な長時間労働により支えられており、日進月歩の医療技術への対応や、より質の高い医療やきめ細やかな患者への対応に対するニーズの高まりにより医師の長時間労働に拍車がかかってきている。</p> <p>勤務医が働きやすい職場づくりに向けて、他職種も含めた医療機関全体の効率化や勤務環境改善の取り組みに要する経費を補助することで、地域での医療提供体制を確保しつつ、医師の時間外労働の短縮につながるが見込まれる。</p> <p>アウトカム指標： 県内にある年間 960 時間以上の時間外勤務を行っている医師がいる医療機関数：調査中</p>					
事業の内容	地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な医療勤務環境となっている医療機関を対象に、医療機関が作成する「勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画」に基づく取組を総合的に実施するのに要する経費を補助する。					
アウトプット指標	補助施設数 (累計) : 9 施設					
アウトカムとアウトプットの 関連	医療機関が実施する勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に関する総合的な取組を支援することで、長時間労働を行う医師がいる医療機関数を減らす。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 329,461	基金充当 額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 140,160
		基金	国 (A)	(千円) 211,537		
			都道府県 (B)	(千円) 105,769	民	(千円) 71,377
			計 (A+B)	(千円) 317,306		うち受託事業等(再 掲) (注2)
			その他 (C)	(千円) 12,155		(千円)
備考 (注3)						

事業区分3：介護施設等の整備に関する事業

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業													
事業名	【No.〇】福岡県介護施設等整備事業	【総事業費】 1,433,086千円												
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域													
事業の実施主体	県、市町村													
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月													
背景にある医療・介護ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築を図る。 ・ 介護療養病床については、介護医療院等への転換を促進することとなっている。 ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、介護施設等に対する支援が必要。 													
	<p>アウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域密着型サービス施設の利用者等を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型特別養護老人ホーム 87床の増加 ・ 認知症高齢者グループホーム 345床の増加 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 933人／月分の利用者増 ・ 認知症対応型デイサービスセンター 3,790回／月分の利用者増 ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 569人／月分の利用者増 ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業所 344人／月分の利用者増 ○ 介護療養病床の廃止期限である令和6年3月末に向けて、介護医療院等への転換整備を支援する。 ○ 介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大を防止する。 													
事業の内容	<p>①地域密着型サービス施設等の整備に対する助成を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">整備予定施設等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td style="text-align: center;">13カ所</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td style="text-align: center;">7カ所</td> </tr> <tr> <td>認知症対応型デイサービスセンター</td> <td style="text-align: center;">2カ所</td> </tr> <tr> <td>介護予防拠点</td> <td style="text-align: center;">1カ所</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: center;">1カ所</td> </tr> </tbody> </table> <p>②介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対して支援を行う。 ③介護療養型医療施設等の介護老人保健施設等への転換整備に要する経費に対して支援を行う。</p>		整備予定施設等		認知症高齢者グループホーム	13カ所	小規模多機能型居宅介護事業所	7カ所	認知症対応型デイサービスセンター	2カ所	介護予防拠点	1カ所	地域包括支援センター	1カ所
整備予定施設等														
認知症高齢者グループホーム	13カ所													
小規模多機能型居宅介護事業所	7カ所													
認知症対応型デイサービスセンター	2カ所													
介護予防拠点	1カ所													
地域包括支援センター	1カ所													

	④新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、消毒液の購入等を行う。
アウトプット 指 標	<p>○ 介護サービスの供給体制の確保や地域包括ケアシステムの構築に向けて、第7期の介護保険事業支援計画等において予定している地域密着型サービス等の介護基盤の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型特別養護老人ホーム 2,451 床 (92 カ所) → 2,567 床 (96 カ所) ・ 認知症高齢者グループホーム 10,114 床 (672 カ所) → 10,459 床 (696 カ所) ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 4,755 人/月分 (279 カ所) →5,688 人/月分 (296 カ所) ・ 認知症対応型デイサービスセンター 22,072 回/月分 (122 カ所) → 25,862 回/月分 (142 カ所) ・ 地域包括支援センター 212 カ所 → 213 カ所 ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1,100 人/月分 (57 カ所) →1,669 人/月分 (71 カ所) ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業所 473 人/月分 (29 カ所) →817 人/月分 (37 カ所) ・ 介護予防拠点 2 カ所 <p>○ 介護療養病床転換 50 床</p> <p>○ 全ての介護施設等に消毒液等を配布する。</p> <p style="text-align: center;">※ 上記整備目標値には当事業による整備費補助のないものを含む。</p>
アウトカムと アウトプット の関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービス等の介護基盤の整備を行うことにより、地域密着型サービス施設の定員数等を増やす。 ・ 介護療養病床の転換を促進し、介護療養病床を減少させる。 ・ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。

事業に要する費用の額	事業内容	総事業費 (A+B+C) (注1)	基金		その他 (C) (注2)	
			国(A)	都道府県(B)		
	①地域密着型サービス施設等の整備	(千円)	(千円) 398,082	(千円) 199,042	(千円)	
	②施設等の開設・設置に必要な準備経費	(千円)	(千円) 426,520	(千円) 213,260	(千円)	
	③介護療養型医療施設等の介護老人保健施設等への転換整備	(千円)	(千円) 80,000	(千円) 40,000	(千円)	
	④介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大	(千円)	(千円) 50,788	(千円) 25,394	(千円)	
金 額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 1,433,086	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注3) (注4)	公	(千円)
	基金	国(A)	(千円) 955,390		民	うち受託事業等 (再掲) (千円)
		都道府県(B)	(千円) 477,696			
		計(A+B)	(千円) 1,433,086			
	その他(C)		(千円)			
備考 (注5)						

(注1) 事業者が未定等のため、総事業費が不明の場合は、記載を要しない。

(注2) 事業者が未定で、事業者負担額が不明の場合は、記載を要しない。

(注3) 事業主体が未定で、かつ、想定もできない場合は、記載を要しない。

(注4) 指定管理者制度の活用など設置主体が「公」で、施設の運営が「民」の場合、基金充当額(国費)における公民の別としては、「公」に計上するものとする。

(注5) 備考欄には、複数年度にまたがり支出を要する事業の各年度の基金所用見込額を記載すること。

事業区分 5 : 介護従事者の確保に関する事業

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 基盤整備 (中項目) 基盤整備 (小項目) 介護人材確保対策連携強化事業 (協議会設置等)								
事業名	【No. 1 (介護分)】 介護人材確保・定着促進ネットワーク事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 5,032 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	「福岡県介護人材確保・定着促進協議会」を設置するとともに、その中に2つの部会(参入促進部会、環境改善・人材育成部会)を設置								
アウトプット指標	協議会：年2回開催 部会：年4回開催								
アウトカムとアウトプットの関連	介護の事業者団体等の関係団体で構成する協議会を設置により、介護業界の主体的・自主的な取組を促進する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		5,032		民	3,355		
		基金	国(A)				(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
			都道府県(B)				(千円)		1,677
			計(A+B)				(千円)		5,032
その他(C)		(千円)	0						
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業					
事業名	【No. 2 (介護分)】 介護職をめざす学生による介護の魅力発信事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,323 千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会					
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月					
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。					
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。					
事業の内容	介護福祉士養成施設で介護福祉士をめざす学生によるイベント等での情報発信に対する支援					
アウトプット指標	介護福祉士を目指す学生が介護の魅力の情報発信のためイベント等による広報を行い、介護の仕事への若者の新規参入を促す。 イベント等による広報：1回					
アウトカムとアウトプットの関連	介護の魅力の情報発信することで将来を担う若者に、介護の仕事に対する正しい理解を促し、職業の選択肢として動機づけを行う。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 4,323	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
		基金	国(A)	(千円) 2,882	民	(千円) 2,882
			都道府県(B)	(千円) 1,441		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			計(A+B)	(千円) 4,323		
			その他(C)	(千円) 0		
備考(注3)						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業						
事業名	【No. 3 (介護分)】 地域住民向け介護体験講座			【総事業費 (計画期間の総額)】 1,949 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県介護福祉士会						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。						
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	主婦層、退職者、転職を希望する者、失業者及び就職を控えた子を持つ保護者等に対し介護職の魅力を伝える介護体験講座に対する支援						
アウトプット指標	地域住民のうち、主婦層、退職者、転職希望者等が、介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持ち、介護の仕事の重要性を再認識し、資格取得や就労につなげる。 県内全域 4会場で4回実施/年						
アウトカムとアウトプットの関連	地域住民に介護体験講座を行うことで介護職の正しい知識を学んでもらうなどにより介護人材確保を改善する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
		(A+B+C)		1,949			
		基金	国(A)				(千円) 1,299
			都道府県(B)				(千円) 650
			計(A+B)				(千円) 1,949
その他(C)		(千円) 0					
備考(注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業							
事業名	【No. 4 (介護分)】 介護の魅力を発信する介護講座				【総事業費 (計画期間の総額)】 6,940 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	久留米、八女・筑後、有明							
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	八女・筑後、有明地域等県南地域において、介護の3つの魅力(「楽しさ」「広さ」「深さ」)を発信するために座談形式のセミナー、介護講座の開催を支援							
アウトプット指標	県内でも高齢化が進み介護ニーズが増加する一方で、人材参入が進まない八女・筑後・有明地域等の県南地域で、介護職の魅力を紹介し、介護人材の参入を促進する。 筑後地区の7か所でセミナー・介護講座実施 59回/年							
アウトカムとアウトプットの関連	地域住民に介護講座を行うことで介護職の正しい知識を学んでもらうなどにより介護人材確保を改善する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における公民の別 (注1)	(千円)		
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		4,627
			計 (A+B)			(千円)		6,940
		その他 (C)		(千円)		0	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
備考 (注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業						
事業名	【No. 5 (介護分)】 世界アルツハイマーデー啓発事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 961 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	認知症の人と家族の会						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。						
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	認知症に対する理解促進のためアルツハイマーデー記念日に合わせて実施する講演会及び街頭活動に対する支援						
アウトプット指標	県内全域で、啓発活動、街頭活動の実施						
アウトカムとアウトプットの関連	敬月活動等の実施により家族に認知症の人を持つ方が、実体験に基づき、認知症の人を支える助け合いの精神の必要性を周知することで、若者から高齢者まで認知症に対する理解を深める。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
		基金	国 (A)				(千円)
			都道府県 (B)				(千円)
			計 (A+B)				(千円)
		その他 (C)		(千円)			0
備考 (注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業								
事業名	【No. 6 (介護分)】 介護業務の普及啓発大会事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 7,766 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	介護業務の普及・啓発に資する大会を開催 ・基調講演 ・ケアコンテスト ・認知症介護事例発表 ・明るい職場のビデオレター 等								
アウトプット指標	介護職員が誇りと意欲を持って働くことができる介護現場の実現を目指すとともに、県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識を深める。 観覧者 500名/年								
アウトカムとアウトプットの関連	介護業務の普及・啓発に資する大会を実施することで介護職の正しい知識を学んでもらうことなどにより介護人材確保を改善する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		7,766			民	(千円) 5,178	
		基金	国(A)	(千円)					5,178
			都道府県(B)	(千円)					2,588
			計(A+B)	(千円)					7,766
その他(C)	(千円)	0	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円) 5,178						
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業								
事業名	【No. 7 (介護分)】 生活習慣病予防・介護予防教育を通じた介護業務理解促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 20,004 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県医師会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	冊子などの啓発ツールを作成し、中学校等に配布する事業に対する支援								
アウトプット指標	小学校、中学校、高等学校等に冊子等啓発ツールを配布								
アウトカムとアウトプットの関連	冊子の配布により学校で介護の仕事の楽しさ、広さ、深さ等を伝えて介護人材のすそ野を広げることで介護人材を確保する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		13,336
			計 (A+B)				(千円)		
		その他 (C)		(千円)			0	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験事業									
事業名	【No. 8 (介護分)】 中学生・高校生に対する介護施設等へのインターンシップ事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 790 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県介護福祉士会									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	中学校及び高校のインターンシップ促進のため、受入れ可能な介護施設の情報をホームページに掲載して情報発信を行う。									
アウトプット指標	インターンシップ受入れ可能な介護施設情報のホームページ掲載									
アウトカムとアウトプットの関連	インターンシップ促進により介護を中学校及び高校の生徒の職業や進路の選択肢としての動機付けを行う。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)			
		(A+B+C)		790						
		基金	国(A)				(千円)		(千円)	
			都道府県(B)				(千円)			527
			計(A+B)				(千円)			263
790		(千円)		0						
その他(C)		(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)					
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 参入促進 (中項目) 地域のマッチング機能強化 (小項目) 多様な人材層(若者・女性・高齢者)に応じたマッチング機能強化事業						
事業名	【No. 9(介護分)】 中山間地域介護人材バンクモデル事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,534千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	八女・筑後						
事業の実施主体	八女市						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。						
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	ボランティアに関心のある若者、介護職に従事していないホームヘルパーや介護福祉士の有資格者等の人材バンクへの登録、介護施設・事業所に関する情報の提供、介護技術を身につける研修の開催						
アウトプット指標	中山間地である八女市をモデルとして、人材バンクや研修事業を実施し、その効果を人口減少や他地域への人材流出が進む地域での介護人材の確保につなげていく。 人材バンク登録人員：100人/年 介護職員初任者研修等の研修受講者数：20人/年						
アウトカムとアウトプットの関連	人材バンクや研修事業を実施することで介護人材確保を改善する。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 3,534	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	(千円) 1,767
		基金	国(A)	(千円) 1,767		民	(千円)
			都道府県(B)	(千円) 883			うち受託事業等 (再掲)(注2)
			計(A+B)	(千円) 2,650			(千円)
		その他(C)	(千円) 884				
備考(注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 介護に関する入門的研修、生活援助従事者研修の受講等支援事業 (ハ)							
事業名	【No. 10 (介護分)】 介護施設等に対する受入体制支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 1,317 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	令和元年度に作成した介護の周辺業務に関する手引きを多言語に翻訳し、県ホームページに掲載する							
アウトプット指標	令和元年度作成の手引きを英語、中国語、ベトナム語、ミャンマー語、インドネシア語、クメール語、ネパール語、タイ語等に翻訳							
アウトカムとアウトプットの関連	介護未経験者の事業所の受入れを促進することにより介護人材確保を改善する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)		
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		878
			計 (A+B)			(千円)		878
		その他 (C)		(千円)		0	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
備考 (注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 将来の介護サービスを支える若年世代の参入促進事業							
事業名	【No. 11 (介護分)】 外国人留学生等の参入促進事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 13,667 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	人材確保につながる取組を行った介護福祉士養成施設に対して補助を行う。							
アウトプット指標	国内人材の確保に関する経費への補助及び留学生の国内定着に関する経費への補助を実施 8箇所/年							
アウトカムとアウトプットの関連	国内人材確保及び留学生の受入れを促進することにより介護人材確保を改善する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
				13,667			9,111	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		
			計 (A+B)			(千円)		
		13,667		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)			
その他 (C)		(千円)			0			
備考 (注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 外国人留学生及び特定技能1号外国人の受入環境整備事業(イ)								
事業名	【No. 12(介護分)】 介護施設等の外国人留学生奨学金等支給に対する支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 51,699千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	県が県内の介護施設等に、当該介護施設等が介護福祉士資格の取得を目指す留学生に対して行う奨学金等の一部を助成する。								
アウトプット指標	県内介護施設等が介護福祉士資格の取得を目指す留学生に対して行う奨学金等の一部への補助を実施 10人分/年								
アウトカムとアウトプットの関連	留学生への支援を行う介護施設に留学生の受入れを促進することにより介護人材確保を改善する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		51,699			民	11,489	
		基金	国(A)					(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			都道府県(B)					(千円)	
			計(A+B)					(千円)	
その他(C)		(千円)	34,466						
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 参入促進 (中項目) 介護人材の「すそ野」拡大 (小項目) 外国人留学生及び特定技能 1 号外国人の受入環境整備事業 (口)							
事業名	【No. 13 (介護分)】 介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生受け入れ支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 20,898 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)							
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率 (65 歳以上人口割合) が 30 % を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和 7 年度までに福岡県で必要となる介護人材 95, 246 人を確保する。							
事業の内容	資格取得を目指す留学生を確保するため、県が実施主体となって「マッチング支援団体」に委託し、県内養成施設に留学させ、県内介護施設等に就職するまでのマッチングを一元的に行い、円滑な受入支援体制を構築する。							
アウトプット指標	・事業参画施設数 10 施設/年							
アウトカムとアウトプットの関連	留学生の養成施設への留学から介護施設就職するまでのマッチングを一元的に行い、円滑な受入支援体制を構築することにより、介護人材確保を改善する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	(千円)		
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		13,932
			計 (A + B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注 2)
		その他 (C)		(千円)		0	(千円)	13,932
備考 (注 3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 外国人介護人材受け入れ環境整備 (小項目) 外国人介護人材受け入れ施設等環境整備事業								
事業名	【No. 14 (介護分)】 外国人介護人材受け入れ施設環境整備事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 5,630 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れるための環境整備に要する経費の一部を助成								
アウトプット指標	・受入施設等に対する補助 83施設/年								
アウトカムとアウトプットの関連	留学生等の外国人介護人材の受入を行う介護施設等の受入環境整備を支援することにより、介護人材確保を改善する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		5,630			3,753		
		基金	国(A)			(千円)	公民の別 (注1)	民	(千円)
			都道府県(B)			(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2)
			計(A+B)			(千円)			(千円)
その他(C)		(千円)	0						
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)								
事業名	【No. 15 (介護分)】 介護施設等における看取り研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 386 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県看護協会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	「看取りケア」を、介護施設等の看護師が自信をもって多職種と協働しながら看取り支援を行うことができるよう実施する、看取りに係る研修への支援								
アウトプット指標	研修開催1回/年 受講者75人/年								
アウトカムとアウトプットの関連	介護施設等における看護職が、看取り期にある本人・家族に対して、その意思を尊重しながら、安らかに最後を迎えられるための支援を行えるようにすることをめざす。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		257
			計 (A+B)				(千円)		257
		その他 (C)		(千円)			0	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)								
事業名	【No. 16 (介護分)】 小規模事業所連携体制の構築支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 6,363 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	複数の小規模事業所でユニットを構成し、連携・協力して、職員交流会を開催								
アウトプット指標	複数の事業所が連携・協力し、働きやすい職場づくり、人材育成を行うことにより、規模が小さいほど多い傾向にある離職を改善する。 形成ユニット・参加者数(年度)：各20ユニット・300人								
アウトカムとアウトプットの関連	ユニットごとに交流会を実施することで介護職員の確保・定着に結び付ける。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		4,242
			計 (A+B)				(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)			0	(千円)	4,242
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)									
事業名	【No. 17 (介護分)】 介護職員喀痰吸引等研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,154 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	喀痰吸引等研修の講師を養成する。									
アウトプット指標	養成人数 200人									
アウトカムとアウトプットの関連	高齢化の進行による医療ニーズの増大に対応するため、喀痰吸引等研修講師を養成する。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)			
		基金	国 (A)				(千円)	公民の別 (注1)	(千円)	
			都道府県 (B)				(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
			計 (A+B)				(千円)			(千円)
		その他 (C)		(千円)				(千円)		
		0		1,436						
備考 (注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (ハ)					
事業名	【No. 18 (介護分)】 介護支援専門員資質向上研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 5,916 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	福岡県介護支援専門員協会					
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月					
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。					
事業の内容	介護支援専門員の法定研修のほか、コンプライアンス研修(制度改正への対応)、主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修、事業所別研修会(介護支援の種別に応じたケアマネジメントスキルの向上)の開催への支援					
アウトプット指標	法定研修のほか、法定研修ではカバーできない内容について研修を実施し、介護支援専門員の資質向上を図る。 県内全域を対象に、以下の研修を実施 ①コンプライアンス研修：9回/年 ②主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修：16回/年 ③事業所別研修：49回/年					
アウトカムとアウトプットの関連	介護支援専門員に研修を実施することでキャリアアップを図り、介護職員の確保・定着に結び付ける。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 5,916	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
		基金	国(A)	(千円) 3,944	民	(千円) 3,944
			都道府県(B)	(千円) 1,972		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			計(A+B)	(千円) 5,916		
		その他(C)	(千円) 0			
備考(注3)						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (ハ)						
事業名	【No. 19 (介護分)】 ケアプラン作成技術向上事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,520 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県介護支援専門員協会						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	実務に従事する介護支援専門員の資質向上のために、ケアプラン作成技術向上アドバイザー(ケアプラン点検指導者)を養成し、居宅介護支援事業所等へ派遣することへの支援						
アウトプット指標	①ケアプラン点検指導者の養成：50人 ②ケアプラン点検指導者の派遣：16回						
アウトカムとアウトプットの関連	サービス利用者の自立支援につながるケアプランを作成できるよう、介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上を目指す。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 (千円)	
		基金	国 (A)				(千円)
			都道府県 (B)				(千円)
			計 (A+B)				(千円)
		その他 (C)		(千円)			民 (千円)
		0	1,520	1,013	507	1,013	
						うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
備考 (注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)							
事業名	【No. 20 (介護分)】 介護業務における介護職員の腰痛予防研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 518 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県理学療法士会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	県内4地区で、理学療法士が介護施設及び訪問介護事業所で稼働する介護職員を対象に、腰痛予防の知識や腰痛予防体操によって、介護業務における腰部の過重な負担の軽減を図る研修会を実施する。							
アウトプット指標	・研修会は県内全域を対象に1回実施。							
アウトカムとアウトプットの関連	介護人材の定着を図るために、給与水準や労働時間などの労働環境の改善や従事者の資質向上を図るためのキャリアアップと併せて、介護業務からの離職の一因である腰痛を予防して介護人材の定着を促進することで介護職員の確保・定着に結び付ける。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		345
			計 (A+B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)		0		
備考 (注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)								
事業名	【No. 21 (介護分)】 訪問介護サービス提供責任者就任前等研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,617 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県介護福祉士会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	県内全域を対象に、就任前または就任後1年未満のサービス提供責任者を対象として研修会を実施する。なお研修は日本ホームヘルパー協会が標準として提示したサービス提供責任者就任前研修カリキュラムに準拠して実施する。								
アウトプット指標	・研修会は県内全域を対象に1回実施。								
アウトカムとアウトプットの関連	サービス提供責任者に就任前又は就任後1年未満のサービス提供責任者を対象に研修を実施することで、訪問介護計画を作成し、訪問介護員を指導するなどの訪問介護事業所を運営する技術を学ぶことで知識不足による離職を防止し、もって訪問介護事業所の要であるサービス提供責任者の定着を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充 当額 (国費) におけ る公民 の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		1,617					
		基金	国(A)				(千円)		(千円)
			都道府県(B)				539		
			計(A+B)				1,617		
その他(C)		(千円)	0		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)				
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業										
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)										
事業名	【No. 22 (介護分)】 看護管理者等の管理能力向上事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 416千円							
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域										
事業の実施主体	福岡県看護協会										
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月										
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。										
事業の内容	介護施設等の看護管理者等を対象とした研修会と参加者の交流会を行う。										
アウトプット指標	研修開催：1回 受講者：50人										
アウトカムとアウトプットの関連	看護管理者に雇用管理環境の改善等に取り組む意識を持ってもらい、介護職、看護職の離職防止を図る。										
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)				
		(A+B+C)		416			民	(千円)			
		基金	国(A)						(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
			都道府県(B)						(千円)		
			計(A+B)						(千円)		
その他(C)		(千円)	0								
備考(注3)											

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)							
事業名	【No. 23 (介護分)】 介護福祉士を対象としたチームリーダー養成研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,013 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県介護福祉士会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士を対象に研修を実施し、自らの成長課題とチームの課題を認識し、解決に取り組む意欲を高めるとともにリーダーとしての悩みを相談し合える人脈を得る。							
アウトプット指標	研修を1回実施 内訳：集合研修2回、個別研修1回							
アウトカムとアウトプットの関連	研修を実施することで資質の向上と介護職員の定着を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		1,342
			計 (A+B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)		0		
備考 (注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) キャリアアップ研修の支援 (小項目) 多様な人材層に対する介護人材キャリアアップ研修支援事業 (イ)								
事業名	【No. 24 (介護分)】 e-ラーニングを活用した人材育成事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,005 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県老人福祉施設協議会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	人材不足等の原因により研修に参加できない介護職員が広く閲覧できるよう、リーダーを育成するための研修をインターネット上に公開するための支援								
アウトプット指標	研修1講座をオンライン公開 閲覧者：500人								
アウトカムとアウトプットの関連	研修を実施することで資質の向上と介護職員の定着を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)			
		基金	国 (A)			(千円)	公	(千円)	
			都道府県 (B)			(千円)		民	(千円)
			計 (A+B)			(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)				(千円)	
			0						
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 潜在有資格者の再就業促進 (小項目) 潜在介護福祉士の再就業促進事業							
事業名	【No. 25 (介護分)】 潜在介護福祉士向け就労支援セミナー事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,942 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県社会福祉協議会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	潜在介護福祉士に対して、介護現場から離れていたことへの不安感を払拭するための就労支援セミナーを実施することへの支援							
アウトプット指標	介護の仕事に従事していない介護福祉士の資格を有する登録者を対象に再就職支援を行い、介護福祉士を確保するとともに、介護サービスの質の向上をめざす。 研修実施：県内4地区、各会場各1回/年							
アウトカムとアウトプットの関連	就労支援セミナーを実施することで介護福祉士の確保と定着を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)	
		(A+B+C)		3,942				
		基金	国(A)				(千円)	
			都道府県(B)				(千円)	
			計(A+B)				(千円)	
3,942				うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)			
その他(C)		(千円)	0		(千円)			
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 潜在有資格者の再就業促進 (小項目) 潜在介護福祉士の再就業促進事業									
事業名	【No. 26 (介護分)】 潜在的有資格者等就労支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,844 千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	北九州									
事業の実施主体	北九州市									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	研修：最新の介護状況、現場で求められる介護技術研修体験等 施設・事業所見学：福祉人材バンクに求人を出している施設等の見学 福祉人材バンクへの登録									
アウトプット指標	介護人材不足に対応するため、資格を有しながら介護分野に就業していない介護福祉士等の潜在的有資格者や、他分野からの離職者等で介護現場への就労を希望する者を対象に、介護の仕事の魅力と実際の現場を知るための研修や職場体験等を実施し、介護分野への就労を促進する。 研修開催：2回/年 施設・事業所見学：2回/年 福祉人材バンクへの登録：80人/年									
アウトカムとアウトプットの関連	研修等を実施することで介護福祉士の確保と定着を図る。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)			
		(A+B+C)		2,844			1,422			
		基金	国(A)				(千円)	公民の別 (注1)	民	(千円)
			都道府県(B)				(千円)			711
			計(A+B)				(千円)			2,133
その他(C)		(千円)	711	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)						
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的な人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)							
事業名	【No. 27 (介護分)】 かかりつけ医認知症対応力向上研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,865 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業) 北九州市 福岡市							
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率 (65 歳以上人口割合) が 30% を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和 7 年度までに福岡県で必要となる介護人材 95,246 人を確保する。							
事業の内容	かかりつけ医の認知症ケアに関する知識や技術、また、認知症の各段階での適切な対応方法の修得を目的とした研修の実施への支援 【カリキュラム】 ・認知症に関する基礎知識 ・認知症の診断 ・認知症の治療とケア ・関係機関との連携							
アウトプット指標	・県： 180 人 ・福岡市： 100 人 ・北九州市： 80 人							
アウトカムとアウトプットの関連	かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応を行うことができるようにする。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	(千円)		
		基金 国 (A)		(千円)		公	642	
		都道府県 (B)		(千円)			民	(千円)
		計 (A + B)		(千円)				627
		その他 (C)		(千円)		うち受託事業等(再掲)(2)	(千円)	627
			962					
備考 (注 3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)							
事業名	【No. 28 (介護分)】 かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 8,004 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県医師会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	認知症の早期症状に関する基礎知識の修得等のフォローアップ研修を実施							
アウトプット指標	研修受講者：1000人							
アウトカムとアウトプットの関連	かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応を行うことができるようにする。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 8,004	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国(A)			(千円) 5,336	民	(千円) 5,336
			都道府県(B)			(千円) 2,668		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			計(A+B)			(千円) 8,004		
		その他(C)		(千円) 0				
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)							
事業名	【No. 29 (介護分)】 認知症サポート医養成等研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】		4,076 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)、北九州市、福岡市							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修として、認知症サポート医の養成及びフォローアップの研修を実施							
アウトプット指標	(1) 認知症サポート医養成研修受講者数：52人 県：35人 福岡市：2人 北九州市：15人 (2) 認知症サポート医フォローアップ研修受講者数：174人 県：86人 福岡市：30人 北九州市：58人							
アウトカムとアウトプットの関連	認知症サポート医の養成とフォローアップを行うことにより、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		(A+B+C)		4,076			440	
		基金	国(A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県(B)			(千円)		1,891
			計(A+B)			(千円)		うち受託事業等(再掲)(注2)
その他(C)		(千円)	579	(千円)	1,891			
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)						
事業名	【No. 30 (介護分)】 認知症初期集中支援チーム設置促進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,508 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県 (一部委託)						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修を実施。						
アウトプット指標	①認知症初期集中支援チーム員の研修 ②認知症支援体制構築促進のための研修						
アウトカムとアウトプットの関連	各市町村における支援チームの設置及び推進員の配置の促進を図る。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 2,508	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 72	
		基金	国(A)	(千円) 1,672	民	(千円) 1,600	
			都道府県(B)	(千円) 836		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円) 1,600
			計(A+B)	(千円) 2,508			(千円) 0
		その他(C)	(千円) 0				
備考(注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)								
事業名	【No. 31 (介護分)】 医療従事者認知症対応力向上等研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 7,388 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)、北九州市、福岡市								
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率 (65 歳以上人口割合) が 30% を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和 7 年度までに福岡県で必要となる介護人材 95,246 人を確保する。								
事業の内容	医療従事者の認知症対応力向上を図るための研修を実施。 ① 歯科医師 ② 薬剤師 ③ 看護職員 ④ 病院勤務の医師等の医療従事者								
アウトプット指標	① 歯科医師：(県) 200 人、(北九州市) 50 人、(福岡市) 200 人 ② 薬剤師：(県) 200 人、(北九州市) 50 人、(福岡市) 200 人 ③ 看護職員：(県) 160 人 ④ 病院勤務の医師等の医療従事者：(県) 100 人、(北九州市) 200 人、(福岡市) 100 人								
アウトカムとアウトプットの関連	医療従事者の認知症対応力向上を図り、各種施策を総合的に推進していくことで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進していく。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	公	(千円)		
				7,388			1,495		
		基金	国 (A)			(千円)		民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)			2,430
			計 (A + B)			(千円)	うち受託事業等(再掲)(注 2)		
その他 (C)		(千円)	1,500	(千円)	2,430				
備考 (注 3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)							
事業名	【No. 32 (介護分)】 認知症介護研修事業			【総事業費 (計画期間の総額)】		21,991 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)、北九州市、福岡市							
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率 (65 歳以上人口割合) が 30% を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和 7 年度までに福岡県で必要となる介護人材 95,246 人を確保する。							
事業の内容	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施すること、また、認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得させるための研修を実施							
アウトプット指標	① 認知症介護指導者フォローアップ研修 ② 認知症対応型サービス事業開設者研修 ③ 認知症対応型サービス事業管理者研修 ④ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 ⑤ 認知症介護基礎研修							
アウトカムとアウトプットの関連	研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とする。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	公	(千円)	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		8,874
			計 (A + B)			(千円)		うち受託事業等(再掲)(2)
		その他 (C)		(千円)		4,340	8,874	
備考 (注 3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)								
事業名	【No. 33 (介護分)】 施設系サービス従事者認知症対応力向上研修 事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 5,006 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	施設系サービスの介護従事者に対して、認知症ケアにおいて重要で、かつ対処困難な症状である周辺症状(BPSD(徘徊、もの盗られ妄想など))や失認・失行に対する理解と対応を学習することを目的とした研修を実施することへの支援								
アウトプット指標	介護保険の施設系サービスの介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応を行うことができるようにする。 研修開催：県内全域を対象に実施								
アウトカムとアウトプットの関連	施設系介護サービス事業所の介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、適切な対応を行うことができるようにする。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		3,337
			計 (A+B)				(千円)		
		その他 (C)		(千円)			0	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業						
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)						
事業名	【No. 34 (介護分)】 訪問介護員等認知症対応力向上研修				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,730 千円		
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域						
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)						
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月						
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。						
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。						
事業の内容	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりのため、訪問サービスの従事者を対象とした認知症対応力向上研修を実施 【内容】・認知症の知識 ・早期対応の重要性 ・認知症の人と家族に対する支援						
アウトプット指標	訪問介護員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所 介護支援専門員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所						
アウトカムとアウトプットの関連	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進していく。						
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民 うち受託事業等(再掲)(注2) (千円) 1,820	
		(A+B+C)		2,730			
		基金	国(A)				(千円) 1,820
			都道府県(B)				(千円) 910
			計(A+B)				(千円) 2,730
		その他(C)		(千円) 0			
備考(注3)							

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)							
事業名	【No. 35 (介護分)】 地域互助による認知症高齢者支援体制づくり事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 718千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県高齢者グループホーム協議会							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	認知症対応型共同生活介護事業所(認知症高齢者グループホーム)の職員を対象に、県内4地区で以下の内容の講義、演習を行う。 講義と演習「地域を巻き込む意義と実践」 認知症高齢者支援の模擬訓練視察研修							
アウトプット指標	研修：4ブロックで実施							
アウトカムとアウトプットの関連	地域住民の助け合い、世代を超えた住民の集まりの場づくり等をサポートすることで、地域の人たちの認知症を正しく理解し、地域で支える意識を高め、認知症の人やその家族が地域で安心して生活できるための体制を整備する。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 718	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国(A)			(千円) 479	民	(千円) 479
			都道府県 (B)			(千円) 239		うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			計(A+B)			(千円) 718		
		その他(C)		(千円) 0				
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (イ)								
事業名	【No. 36 (介護分)】 一般県民、家族介護者向け認知症公開講座事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 13,023 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県医師会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	認知症の人や家族の視点に立った認知症に対する正しい理解とそれに基づく適切な対応を図るための、認知症の人や家族と地域住民による意見交換会やグループワーク等の研修の実施への支援								
アウトプット指標	認知症に対する正しい知識の習得等研修の実施								
アウトカムとアウトプットの関連	認知症に係る地域での支え合い体制を整備することにより、認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安を軽減する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	8,682	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		
			計 (A+B)				(千円)		
		その他 (C)		(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)		
		0							
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業等 (口)								
事業名	【No. 37 (介護分)】 認知症サポーター活動促進支援体制整備事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,095 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	認知症サポーターを中心とした支援者と地域で暮らす認知症の人や家族をつなぐ仕組みであるチームオレンジを整備するため、オレンジコーディネーター等を養成する研修を実施する								
アウトプット指標	・オレンジチューター養成研修(国実施)への派遣 5人/年 ・オレンジコーディネーター養成(県実施) 100人/年								
アウトカムとアウトプットの関連	オレンジチューター、オレンジコーディネーターの養成により、認知症の人や家族を地域で支える体制を構築する上で重要なチームオレンジの整備を推進する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)			
		基金	国(A)			(千円)	公	730	
			都道府県(B)			(千円)		民	(千円)
			計(A+B)			(千円)			うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他(C)		(千円)		0	(千円)		
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 地域包括ケアシステム構築・推進に資する人材育成・資質向上事業									
事業名	【No. 38 (介護分)】 訪問型の生活支援サービス従事者養成研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 6,380 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県介護福祉士会									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	地域支援事業の新総合事業として実施する要支援者等に対する訪問型の生活支援サービスを提供する担い手の育成研修に対する支援									
アウトプット指標	総合事業を全市町村で円滑に導入するために、訪問型の生活支援サービスを提供する担い手を育成する。 県内4地区で実施 100人養成									
アウトカムとアウトプットの関連	要支援者等に対する訪問型の生活支援サービスを提供する担い手の育成研修を実施することに対する支援									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)			
		(A+B+C)		6,380			民	(千円) 4,253		
		基金	国(A)						(千円)	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)
			都道府県(B)						(千円)	
			計(A+B)						(千円)	
その他(C)		(千円)	0							
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 介護予防の推進に資する専門職種の指導者育成事業								
事業名	【No. 39 (介護分)】 リハビリ専門職の介護予防指導者養成事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 1,311 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県言語聴覚士会								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	地域のあらゆる通いの場で、介護予防の取組を推進するため、リハビリテーション専門職に対し、介護予防推進に係る指導者として必要な知識の習得を図るための研修会に対する支援								
アウトプット指標	県内全域で実施、養成者数800人								
アウトカムとアウトプットの関連	高齢者の心身機能の維持・向上が図れるように、それぞれの地域で介護予防推進員や住民に対してリハビリテーションを指導できる人材を養成する。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		1,311					
		基金	国(A)				(千円)		874
			都道府県(B)				(千円)		
			計(A+B)				(千円)		
その他(C)		(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)				
		0							
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 地域包括ケアシステム構築・推進に資する人材育成・資質向上事業									
事業名	【No. 40 (介護分)】 生活支援サービス提供体制整備促進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,268 千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	生活支援コーディネーター養成研修									
アウトプット指標	生活支援コーディネーターの養成：3回									
アウトカムとアウトプットの関連	市町村による地域資源を活用した介護予防・生活支援サービスの提供体制整備を支援することにより、高齢者が、多様な主体による介護予防・生活支援サービスの提供を受けられるようにする。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公	(千円)			
				2,268			1,512			
		基金	国 (A)			(千円)		民	(千円)	
			都道府県 (B)			(千円)				756
			計 (A+B)			(千円)				2,268
その他 (C)		(千円)	0	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)					
備考 (注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 地域包括ケアシステム構築・推進に資する人材育成・資質向上事業									
事業名	【No. 41 (介護分)】 地域包括ケア会議支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 4,486 千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	モデル市町村を対象にした、アドバイザーの派遣及び地域ケア会議について理解を深める研修の実施、専門職向け地域ケア会議助言者養成研修の実施、市町村等の職員を対象とした研修の実施									
アウトプット指標	専門職向けの地域ケア会議助言者養成研修：300人 市町村等の職員を対象とした研修の受講者数：240人									
アウトカムとアウトプットの関連	市町村及び地域包括支援センターによる地域ケア会議の推進を図る。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)			
				4,486			民	2,991		
		基金	国 (A)				(千円)			(千円)
							2,991			
			都道府県 (B)				(千円)			
計 (A+B)		(千円)	4,486	うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)					
その他 (C)		(千円)	0							
備考 (注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 地域包括ケアシステム構築・推進に資する人材育成・資質向上事業							
事業名	【No. 42 (介護分)】 介護予防指導者育成事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 200 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	福岡・糸島							
事業の実施主体	糸島市							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	介護予防にかかるボランティア養成講座の講師となるリハビリテーション専門職の育成を行う。							
アウトプット指標	実施回数：5回							
アウトカムとアウトプットの関連	リハビリテーション専門職が介護予防に必要な知識や技術を学ぶことで、住民主体の通いの場を支援できる体制の構築を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円) 200	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円) 100	
		基金	国(A)			(千円) 100	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円) 50		
			計(A+B)			(千円) 150		
		その他(C)		(千円) 50			うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)	
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 地域包括ケア構築のための広域的人材養成 (小項目) 権利擁護人材育成事業 (イ)								
事業名	【No. 43 (介護分)】 権利擁護人材養成事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 32,108 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県、北九州市、福岡市、久留米市、中間市、筑紫野市、古賀市、 福津市、うきは市、糸島市、水巻町								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	市民後見人養成のための研修、市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築、市民後見人の適正な活動のための支援、その他市民後見人の活動の推進に関する事業を実施することへの支援								
アウトプット指標	地区別会議、市町村研修会、市民後見人に関する研修の実施								
アウトカムとアウトプットの関連	市民後見制度の体制を整備・強化することにより、市民後見人といった認知症高齢者等の権利擁護に携わる人材の養成と資質の向上を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
				32,108			21,405		
		基金	国 (A)			(千円)	公民の別 (注1)	民	(千円)
						21,405			
			都道府県 (B)			(千円)			
計 (A+B)		(千円)	32,108	うち受託事業等 (再掲)(注2)		(千円)			
その他 (C)		(千円)	0						
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 資質の向上 (中項目) 研修代替要員の確保支援 (小項目) 各種研修に係る代替要員の確保対策事業									
事業名	【No. 44 (介護分)】 介護職員等技能向上支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 0千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	介護保険施設・事業所の介護職員が研修を受ける場合に、代替職員を派遣									
アウトプット指標	介護保険施設・事業所の介護職員が各種研修に参加する場合に、当該施設・事業所に代替職員を派遣することにより、介護職員の研修参加を促し、職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上を図る。 派遣日数：1,480人日/年(H27～H29)、1,320人日/年(H30)									
アウトカムとアウトプットの関連	介護職員が研修参加する際の代替職員派遣により介護人材の資質の向上を図る。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)			
		(A+B+C)		0			うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)		
		基金	国(A)						(千円)	0
			都道府県(B)						(千円)	
			計(A+B)						(千円)	
その他(C)		(千円)	0	0						
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業					
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)					
事業名	【No. 45 (介護分)】 初任者及び中堅職員に対する職場環境改善研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,972 千円	
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域					
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会					
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月					
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。					
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。					
事業の内容	介護職の定着率を高め職場環境を改善することを目的として、「初任者向け研修(入職～2年目)」、「中堅職員向け研修(事務長・課長クラス)」、「介護からの離職をテーマとしたシンポジウム」を開催することへの支援					
アウトプット指標	初任者向けに介護職員としての意識と行動を身に着ける研修、中堅職員向けにリーダーとしての遂行能力、育成能力を身に着ける研修を実施、介護職員が安心して働き続けられる職場環境の整備をテーマとしたシンポジウムを開催することにより、介護人材の定着を図る。 研修の実施 ・初任者向け研修：6回開催/年 ・中堅職員向け研修：6回開催/年 ・シンポジウム：1回開催/年					
アウトカムとアウトプットの関連	研修の実施により介護人材の資質の向上を図る。					
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)	(千円) 4,972	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)
		基金	国(A)	(千円) 3,315	民	(千円) 3,315
			都道府県(B)	(千円) 1,657		
			計(A+B)	(千円) 4,972		
		その他(C)	(千円) 0			
備考(注3)						

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業										
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 人材育成力の強化 (小項目) 新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等導入支援事業										
事業名	【No. 46 (介護分)】 看護職に対する介護教育研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 898千円						
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域										
事業の実施主体	福岡県訪問看護ステーション連絡協議会										
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月										
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。										
事業の内容	訪問看護に係る指導者(中堅職員)及び職員を対象に、新人育成及び医療・介護の知識や技能の向上のために実施する研修に対する支援										
アウトプット指標	県内全域で実施、4回開催										
アウトカムとアウトプットの関連	訪問看護に係る看護職員が、新人育成及びタイムリーなテーマで必要な知識や技術を学ぶことで、介護職員の早期離職防止・定着促進につなげる。										
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)				
		基金	国(A)				(千円)	599	(千円)		
			都道府県(B)				(千円)			299	599
			計(A+B)				(千円)				
		その他(C)		(千円)			0				
備考(注3)											

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)								
事業名	【No. 47 (介護分)】 介護職員管理能力向上事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 22,734 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	介護職員に対する人事管理、マネジメント、リーダーシップ、人材育成等について、理論講義、グループ討議、演習、自己診断、事例研修等の形式による研修会を行い、小規模事業所のうち定着率が特に低い事業所に対しては、アドバイザーによる訪問指導を行う。								
アウトプット指標	研修受講者数：300人/年								
アウトカムとアウトプットの関連	管理者や中堅職員等に対し、組織マネジメント、リーダーシップ、コーチング理論、具体的な雇用改善方策に取り組むための研修を実施し、介護職員が安心して働き続けられる環境整備を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		基金	国 (A)				(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)				(千円)		15,156
			計 (A+B)				(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)			0	(千円)	15,156
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)									
事業名	【No. 48 (介護分)】 介護の職場環境改善セミナー実施事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,023 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	北九州									
事業の実施主体	北九州市									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	介護事業所の経営者や管理者を対象に、介護事業所が抱える労務管理・人材育成に関する課題を解決するための知識や手法を学ぶ「介護の職場環境改善セミナー」を実施。セミナーは人材育成・人材定着の手法や介護経営、メンタルヘルス、労働トラブルの防止などをテーマに実施する。 セミナー受講対象者：北九州市内の介護保険事業所の経営者及び管理者									
アウトプット指標	介護事業所の経営者や管理者を対象に、介護事業所が抱える労務管理・人材育成に関する課題を解決するための知識や手法を学ぶセミナーを実施することで、経営者や管理者を中心とした職場の環境改善を図り、介護事業所における人材の定着につなげる。 介護の職場環境改善セミナー：10回開催/年									
アウトカムとアウトプットの関連	研修の実施により介護職場の環境改善を図り、介護人材の定着に繋げる。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)			
		(A+B+C)		4,023			2,011			
		基金	国(A)				(千円)	注1)	民	(千円)
			都道府県(B)				(千円)			(千円)
			計(A+B)				(千円)			うち受託事業等(再掲)(注2)
その他(C)		(千円)	1,006	(千円)						
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 雇用管理体制の改善に取り組む事業者表彰事業							
事業名	【No. 49 (介護分)】 介護の仕事「人材定着・職場環境改善」表彰事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 1,650 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	北九州							
事業の実施主体	北九州市							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	事例の募集：他の事業所のモデルとなる「人材定着・職場環境改善への取組み」を介護保険事業所に募集 表彰式：応募事例を選考後、表彰式において事業所等を表彰するとともに、表彰を受けた事業所が取組み内容を発表する。 広報・啓発：受賞事業所等について、北九州市が市のホームページで広報・啓発を図る。							
アウトプット指標	・事例募集・選考・表彰は年に1回実施。							
アウトカムとアウトプットの関連	介護職員の育成や、処遇・職場環境の改善による介護人材の定着促進に積極的に取り組む介護事業所を表彰し、その取組みを広く公開し、他の介護事業所に周知することで、介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図り、介護人材の確保や定着促進につなげる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	(千円)		
		(A+B+C)		1,650		825		
		基金	国(A)			(千円)	公民の別 (注1)	(千円)
			都道府県(B)			(千円)		(千円)
			計(A+B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
その他(C)		(千円)	413	(千円)				
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業									
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)									
事業名	【No. 50 (介護分)】 介護福祉施設人材定着支援セミナー実施事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 842千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域									
事業の実施主体	福岡県社会福祉協議会									
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月									
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。									
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。									
事業の内容	・新規採用職員の早期離職の防止や定着を図るためのマネジメントについて学び、継続して活躍できる人材育成に資するために、介護福祉施設・事業所の役職員を対象としたセミナーを実施。									
アウトプット指標	介護福祉施設人材定着支援セミナーを年に2回開催									
アウトカムとアウトプットの関連	介護福祉施設や事業所の役職員を対象に、新規採用職員の離職防止や定着を図るためのマネジメントを学ぶことで、介護職員が安心して働き続けられる環境整備を図り定着率の向上に繋げる。									
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)			
		(A+B+C)		842			民	(千円)		
		基金	国(A)	(千円)					561	
			都道府県(B)	(千円)						281
			計(A+B)	(千円)						
その他(C)	(千円)	0	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)							
備考(注3)										

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)							
事業名	【No. 51 (介護分)】 経営者・管理者向けマネジメント研修事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 4,125 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	福岡・糸島							
事業の実施主体	福岡市							
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率 (65 歳以上人口割合) が 30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和 7 年度までに福岡県で必要となる介護人材 95,246 人を確保する。							
事業の内容	介護保険事業所の経営者及び管理者を対象に人・組織、サービス、財務に関する統合的なマネジメント研修を実施する。(例：経営者の意識改革、リーダーシップ開発、組織マネジメント、人事・労務管理改善、人材育成、メンタルヘルス向上、業務効率化、労働環境改善等) 研修受講対象者：福岡市内の介護保険事業所の経営者及び管理者							
アウトプット指標	介護保険事業所の経営者や管理者が意識改革を行うとともに、総合的なマネジメントを学んだり、事業所内のさまざまな課題を解決していくための知識や手法を身につけるための研修を実施することで、経営者や管理者を中心とした職場の環境改善を図り、介護保険事業所における人材の定着につなげる。 介護の職場環境改善セミナー：12回開催/年							
アウトカムとアウトプットの関連	研修の実施により介護職場の環境改善を図り、介護人材の定着に繋げる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A + B + C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注 1)	公	(千円)	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		うち受託事業等(再掲)(注 2)
			計 (A + B)			(千円)		
		その他 (C)		(千円)			(千円)	
		4,125	2,062	1,031	3,093	1,032	2,062	
備考 (注 3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 雇用管理体制の改善に取り組む事業者表彰事業							
事業名	【No. 52 (介護分)】 介護事業所・人材の表彰事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 2,632 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	福岡・糸島							
事業の実施主体	福岡市							
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	経営改革や人材育成、職場環境改善など部門ごとに有効な取組を行っている事業所を公募・選考・表彰する。表彰式では各部門で受賞した事業所の表彰及び受賞事業所による事例発表を行う。併せて本事業の報告書を作成して各事業所に配布や福岡市のホームページ等によって、有効な取組を周知する。 (各部門の例)：「経営改革」、「人材育成」、「職場環境改善」、「業務改善・効率化」、「サービス向上」、「人事労務管理改善」等							
アウトプット指標	・事例募集・選考・表彰は年に1回実施。							
アウトカムとアウトプットの関連	介護職員の育成や、処遇・職場環境の改善による介護人材の定着促進に積極的に取り組む介護事業所を表彰し、その取り組みを広く公開し、他の介護事業所に周知することで、介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図り、介護人材の確保や定着促進につなげる。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		(A+B+C)		2,632			1,316	
		基金	国(A)			(千円)		
			都道府県(B)			(千円)		(千円)
			計(A+B)			(千円)		
		1,974			うち受託事業等 (再掲)(注2)			
その他(C)		(千円)			(千円)			
		658						
備考(注3)								

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)								
事業名	【No. 53 (介護分)】 介護ロボット・エキスパート育成事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 3,003 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	福岡・糸島								
事業の実施主体	福岡市								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	介護保険事業所の職員対象の介護ロボット現場リーダー養成研修及び経営者及び管理者対象の介護ロボット管理者向け研修の実施に対する支援								
アウトプット指標	・現場リーダー養成研修：年2回、参加者50人 ・管理者向け研修：年2回、参加者100人								
アウトカムとアウトプットの関連	研修の実施により介護ロボットの導入を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護業務の効率化を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)	
			都道府県 (B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)	(千円)
			計 (A+B)			(千円)			(千円)
		その他 (C)		(千円)				(千円)	
		3,003	1,501	751	2,252	751	1,501		
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)								
事業名	【No. 54 (介護分)】 ノーリフティングケア普及促進事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 7,465 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	ノーリフティングケアの正しい認識、導入目的や期待される効果、管理者として取り組むべき職場環境改善等を内容とした管理者向け研修会及びモデル施設を対象としたマネジメント研修の実施								
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者向け研修：年1回 ・モデル施設マネジメント研修：年6期 ・取組結果報告会：年1回 								
アウトカムとアウトプットの関連	研修等の実施によりノーリフティングケアの普及を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護業務の効率化を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		7,465					
		基金	国(A)				(千円)		(千円)
			都道府県(B)				(千円)		4,977
			計(A+B)				(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
その他(C)		(千円)	0	(千円)	4,977				
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (ハ)								
事業名	【No. 55 (介護分)】 ICT 導入支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 391,743 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	介護事業所におけるICT導入を促進するため、介護ソフト及びタブレット端末等に係る導入費用の一部を助成する								
アウトプット指標	・65施設・事業所/年								
アウトカムとアウトプットの関連	介護職場におけるICTの導入を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護業務の効率化を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)		
		(A+B+C)		391,743			195,871		
		基金	国(A)			(千円)	公民の別 (注1)	民	(千円)
			都道府県(B)			(千円)			97,936
			計(A+B)			(千円)			293,807
その他(C)		(千円)	97,936	うち受託事業等 (再掲)(注2) (千円)					
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)								
事業名	【No. 56 (介護分)】 介護職員処遇改善加算取得促進支援事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 11,530 千円				
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	加算取得なしの事業所対象に理解促進のための勉強会の開催、及び加算(Ⅳ)・(Ⅴ)、加算取得なしの事業所に限定して、プッシュ型のアドバイザー(社会保険労務士)派遣を実施								
アウトプット指標	・勉強会 20回開催/年 ・アドバイザー派遣 115回/年								
アウトカムとアウトプットの関連	介護職員処遇改善加算未取得の事業所等に対する勉強会やアドバイザー派遣を通じて、事業所に加算制度への理解を促し、加算取得を推進することにより、介護職員の確保・定着に結び付ける。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費		(千円)	基金充当額 (国費)における 公民の別 (注1)	公 民	(千円)		
		(A+B+C)		11,530					
		基金	国(A)				(千円)		(千円)
			都道府県(B)				(千円)		7,687
			計(A+B)				(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
その他(C)		(千円)		(千円)					
		0		7,687					
備考(注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業								
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (口)								
事業名	【No. 57 (介護分)】 介護ロボット導入支援事業			【総事業費 (計画期間の総額)】 271,273 千円					
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域								
事業の実施主体	福岡県								
事業の期間	令和2年4月～令和3年3月								
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。								
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。								
事業の内容	<p>移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の6分野について、介護施設等における介護ロボットの導入を支援。先駆的な取組として他の介護施設等への普及を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1機器につき最大30万円(移乗支援又は入浴支援の場合は最大100万円)の補助 ・見守り機器導入に伴う通信環境整備の場合、最大150万円の補助 								
アウトプット指標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット導入支援 14事業所、各10台ずつの導入を想定 ・通信環境整備支援 2事業所を想定 								
アウトカムとアウトプットの関連	介護ロボットの導入を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減を図るとともに、介護業務の効率化を図る。								
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	(千円)			
		基金	国 (A)			(千円)	公	135,636	
			都道府県 (B)			(千円)		民	(千円)
			計 (A+B)			(千円)			うち受託事業等(再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)			(千円)		
		67,819							
備考 (注3)									

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業							
	(大項目) 労働環境・処遇の改善 (中項目) 勤務環境改善支援 (小項目) 管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業 (イ)							
事業名	【No. 58 (介護分)】 福岡県感染環境ラウンド・アドバイザー派遣事業				【総事業費 (計画期間の総額)】 2,400 千円			
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域							
事業の実施主体	福岡県 (委託事業)							
事業の期間	令和2年12月～令和3年3月							
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率(65歳以上人口割合)が30%を超えると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。							
	アウトカム指標：令和7年度までに福岡県で必要となる介護人材95,246人を確保する。							
事業の内容	介護施設における感染症の感染予防及び感染拡大防止を図るため、感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師をアドバイザーとして介護施設に派遣し、感染対策の現状を見ながら、助言や相談に対応する。							
アウトプット指標	介護施設に対する派遣回数：85回							
アウトカムとアウトプットの関連	介護施設における感染予防対策の徹底を図ることにより、介護従事者の安全を確保するとともに不安を払拭し、離職防止を図る。							
事業に要する費用の額	金額	総事業費 (A+B+C)		(千円)	基金充当額 (国費) における 公民の別 (注1)	公	(千円)	
		基金	国 (A)			(千円)	民	(千円)
			都道府県 (B)			(千円)		1,600
			計 (A+B)			(千円)		うち受託事業等 (再掲)(注2)
		その他 (C)		(千円)		(千円)	1,600	
		2,400						
備考 (注3)								